平成29年旭市議会第1回定例会会議録

議事日程（第1号）

平成29年3月1日（水曜日）午前10時開会

- 第 1 開 会
 - 第 2 議長報告事項
 - 第 3 会議録署名議員の指名
 - 第 4 会期の決定
 - 第 5 議案上程
 - 第 6 施政方針並びに提案理由の説明
 - 第 7 議案の補足説明
-

本日の会議に付した事件

- 日程第 1 開 会
 - 日程第 2 議長報告事項
 - 日程第 3 会議録署名議員の指名
 - 日程第 4 会期の決定
 - 日程第 5 議案上程
 - 日程第 6 施政方針並びに提案理由の説明
 - 日程第 7 議案の補足説明
-

出席議員（20名）

1 番	林 晴 道	2 番	高 橋 秀 典
3 番	米 本 弥一郎	4 番	有 田 惠 子
5 番	宮 内 保	6 番	磯 本 繁
7 番	飯 嶋 正 利	8 番	宮 澤 芳 雄
9 番	太 田 將 範	10 番	伊 藤 保
11 番	島 田 和 雄	12 番	平 野 忠 作
13 番	伊 藤 房 代	15 番	向 後 悦 世

16番 景山 岩三郎

19番 佐久間 茂樹

21番 高橋 利彦

17番 滑川 公英

20番 林 俊介

22番 林 正一郎

欠席議員（2名）

14番 林 七巳

18番 木内 欽市

説明のため出席した者

市長	明智 忠直	副市長	加瀬 寿一
教育長	刃田 哲雄	秘書広報課長	飯島 茂
行政改革推進課長	浪川 昭	総務課長	加瀬 正彦
企画政策課長	横山 秀喜	財政課長	伊藤 憲治
税務課長	渡邊 満	市民生活課長	大木 廣巳
環境課長	井上 保巳	保険年金課長	高木 松夫
健康管理課長	浪川 勝子	社会福祉課長	岩井 正和
子育て支援課長	大矢 淳	高齢者福祉課長	宮内 隆
商工観光課長	向後 嘉弘	農水産課長	宮負 賢治
建設課長	加瀬 喜弘	都市整備課長	川口 裕司
下水道課長	高野 和彦	会計管理者	島田 知子
消防長	品村 順一	水道課長	加瀬 宏之
庶務課長	角田 和夫	学校教育課長	石見 孝男
生涯学習課長	高木 昭治	体育振興課長	加瀬 英志
監査委員局長	高安 一範	農業委員会事務局長	相澤 薫

事務局職員出席者

事務局長 阿曾 博通

事務局次長 花澤 義広

開会 午前10時 0分

○議長（佐久間茂樹） おはようございます。

ここで会議を開会する前に、あらかじめご了解をお願いいたします。

市の広報及び報道関係者の取材のため、この後、本議場内の写真撮影を行いますので、ご了解をいただきたいと思います。

◎日程第1 開 会

○議長（佐久間茂樹） ただいまの出席議員は20名、議会は成立しました。

これより平成29年旭市議会第1回定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

◎日程第2 議長報告事項

○議長（佐久間茂樹） 日程第2、議長報告事項。

議長の報告事項を申し上げます。

お配りいたしました印刷物により、ご了承いただきたいと思います。

◎日程第3 会議録署名議員の指名

○議長（佐久間茂樹） 日程第3、会議録署名議員の指名。

会議録署名議員の指名を行います。

12番、平野忠作議員、13番、伊藤房代議員、以上の2議員を指名いたします。

◎日程第4 会期の決定

○議長（佐久間茂樹） 日程第4、会期の決定。

会期の決定を議題といたします。

おはかりいたします。本定例会の会期は、本日から3月17日までの17日間といたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（佐久間茂樹） ご異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は本日から3月17日までの17日間と決しました。

なお、お配りいたしました日程表により、会議の運営を図りたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

○議長（佐久間茂樹） 市長より送付を受けております議案は、議案第1号から議案第26号までの26議案であります。配付漏れはありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（佐久間茂樹） 配付漏れないものと認めます。

議案説明のため、市長、副市長、教育長、ほか関係課長等の出席を求めました。

◎日程第5 議案上程

○議長（佐久間茂樹） 日程第5、議案上程。

議案第1号から議案第26号までの26議案を一括上程いたします。

議案第 1号 平成29年度旭市一般会計予算の議決について

議案第 2号 平成29年度旭市病院事業債管理特別会計予算の議決について

議案第 3号 平成29年度旭市国民健康保険事業特別会計予算の議決について

議案第 4号 平成29年度旭市後期高齢者医療特別会計予算の議決について

議案第 5号 平成29年度旭市介護保険事業特別会計予算の議決について

- 議案第 6 号 平成 29 年度旭市下水道事業特別会計予算の議決について
- 議案第 7 号 平成 29 年度旭市農業集落排水事業特別会計予算の議決について
- 議案第 8 号 平成 29 年度旭市水道事業会計予算の議決について
- 議案第 9 号 平成 28 年度旭市一般会計補正予算の議決について
- 議案第 10 号 旭市公共施設等整備基金条例の制定について
- 議案第 11 号 旭市空家等の適切な管理に関する条例の制定について
- 議案第 12 号 旭市職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 13 号 旭市非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 14 号 旭市税条例等の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 15 号 旭市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 16 号 旭市児童遊園設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 17 号 旭市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 18 号 旭市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 19 号 旭市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 20 号 旭市文化振興基金条例を廃止する条例の制定について
- 議案第 21 号 和解及び損害賠償の額を定めることについて
- 議案第 22 号 指定管理者の指定について
- 議案第 23 号 市道路線の認定及び変更について
- 議案第 24 号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
- 議案第 25 号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
- 議案第 26 号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

◎日程第 6 施政方針並びに提案理由の説明

○議長（佐久間茂樹） 日程第 6、施政方針並びに提案理由の説明。

施政方針並びに提案理由の説明を求めます。

明智市長、ご登壇願います。

(市長 明智忠直 登壇)

○市長（明智忠直） おはようございます。

本日から3月。本当に春らしい天候になりまして、議員の皆さん方には大変ご苦労さまでございます。

本日、ここに平成29年旭市議会第1回定例会を招集し、平成29年度一般会計、特別会計及び企業会計予算のほか、条例の制定等の案件についてご審議を願うことといたしました。

開会にあたり、新年度における市政運営について、所信の一端を申し上げます。

初めに、総合戦略について申し上げます。

この計画は、急激な人口減少に歯どめをかけ、地域の活性化を図り、持続可能な社会の実現を目指すもので、平成29年度は計画期間の折り返し点である3年目を迎えます。今後也將来都市像に掲げる「郷土愛からつなぐ未来 ず〜っと大好きなまち旭」を実現させるため、重点施策と基本施策、さらには生涯活躍のまち構想の実現を目指し、取り組んでまいります。

次に、総合戦略の中で、平成29年度に取り組む重点施策の四つのプロジェクトに沿って申し上げます。

一つ目は、「地産振興プロジェクト」であります。

初めに、道の駅「季楽里あさひ」を活用した交流拠点の形成について申し上げます。

本市の産業や観光、地域の振興を目的に整備いたしました道の駅「季楽里あさひ」は、開業以来多くの来場者から好評をいただいております、平成28年1月から12月末までの1年間で、来場者は106万人に達しました。

今後も、地方創生を具体的に実現する重点道の駅としての推進を図るとともに、「食の郷あさひ」から生産される全国トップレベルの農水産物のPRなど、本市のさまざまな魅力を発信する拠点となるよう、取り組んでまいります。

次に、観光資源創出プロモーション事業について申し上げます。

本市の魅力を全国へ発信するため、マスコミや旅行関連企業と連携し、地元産品を利用した観光資源の創出や、各種観光イベントなどの旅行商品化への取り組み、また、本市が舞台となった映画を活用することにより、観光客招致に向けたプロモーション活動を展開してまいります。

次に、観光イベント事業について申し上げます。

袋公園桜まつりについては、4月1日から12日までの12日間で開催を予定しており、4月8日には、新たに観光大使となった桂竹千代さんによる寄席をはじめ、さまざまな催しが計画されております

このほか、砂の彫刻美術展、いいおかYOU・遊フェスティバル、七夕市民まつりの開催、サーフィン大会への支援、さらには海水浴場の開設など、海の資源を最大限に活用し、元気な旭市をPRしていきたいと考えております。

次に、こだわり旭ブランド創出支援事業について申し上げます。

豊富な農水産物を生かし、生産者や加工者が新たな「旭の顔」となり得るブランド品づくりのために行う、加工品開発や販路拡大などの取り組みに対し、支援を行ってまいります。

次に、創業者等への支援について申し上げます。

市内で創業・起業を目指す方のため、創業セミナーの開催など、商工会や関係機関等と連携し、創業者への支援を行ってまいります。

二つ目は、「子宝育成プロジェクト」であります。

初めに、出会いの場創出事業について申し上げます。

若者の定住化を促進し、未婚化、晩婚化を解消するため、様々な婚活イベントの開催などにより、男女の出会いの場を提供できるよう、関係団体と連携し、支援を行ってまいります。

次に、少子化対策について申し上げます。

特定不妊治療助成事業については、不妊に悩む夫婦に対して、高額な治療費を要する特定不妊治療費の一部を助成し、治療に伴う経済的負担の軽減を図ってまいります。

出産祝金支給事業については、第2子の出産に対し10万円を、第3子以降の出産に対し20万円を支給してまいります。

そのほか、乳幼児紙おむつ給付事業、子ども医療費助成事業、第3子以降保育料等の無料化などの子育て支援についても引き続き実施してまいります。

学校給食については、平成29年度から第3子以降の学校給食費の無料化を実施し、子育て世代を中心に多子世帯の経済的負担の軽減や、安心して子どもを産み育てられる環境づくりの推進を図ってまいります。

親と子どもの絆プロジェクト事業については、子どもの豊かな心を育むため、市内保育所、幼稚園、認定こども園などが実施する、世代間、地域との交流事業に対し、助成を行ってまいります。

三つ目は、「故郷創出プロジェクト」であります。

初めに、定住促進奨励金交付事業について申し上げます。

本市では、人口減少対策の一環として、平成25年度から定住促進奨励金交付事業を実施しており、定住人口の確保に努めております。

事業開始以来、申請件数210件、転入者数は546人となっております。

今後も、本市の魅力を感じていただき、住んでみたい、住み続けたいと思えるまちづくりを進めていきたいと考えております。

次に、地域公共交通の利便性向上について申し上げます。

地域公共交通については、JRやタクシー、路線バスなどと連携、協力し、コミュニティバスを運行しておりますが、人口減少、少子高齢化が進む中で、ニーズの変化が生じるとともに、交通弱者のさらなる増加が見込まれます。

このことから、地域にとって、より望ましい公共交通の姿を明らかにし、市民にとって利用しやすい公共交通体系を構築するため、マスタープランとなる地域公共交通網形成計画を策定してまいります。

次に、ふるさと応援寄附推進事業について申し上げます。

本事業は、昨年3月から寄附の受付を開始し、1月末現在の寄附申出は332件、1,705万円となっております。

現在、制度の拡充を図るため、本市の観光資源を活用した、釣船の乗船券やサーフィンスクール利用券、長熊釣堀センター利用券、海上キャンプ場利用券などの新たな返礼品について準備を進めているところであります。

今後も旭の特産品や各種の体験事業など、魅力ある返礼品の拡大に努め、市外から訪れていただく方々の増と、さらには産業の振興へも結び付けていきたいと考えております。

次に、幽学の里で米作り交流事業について申し上げます。

大原幽学ゆかりの水田を活用し、市内在住者と都市住民が米作り体験を通し、交流活動を図ることで、「食の郷あさひ・旭」をPRするとともに、農作物を作る喜び、食べる喜びを通して農業の魅力を知っていただきたいと考えております。

四つ目は、「安心形成プロジェクト」であります。

初めに、地域包括ケアシステムの充実について申し上げます。

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、介護予防・認知症対策に取り組むとともに、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指してまいります。

地域包括支援センターについては、市内5か所に点在する在宅介護支援センターとの連携を強化し、高齢者やその家族からの相談に応じる総合相談・支援事業と見守り対策の充実を図ってまいります。

次に、震災復興・津波避難道路整備事業について申し上げます。

横根三川線については、飯岡中学校の進入路部分の240メートル区間について完成し、供用を開始しております。また、旭地区の椎名内西足洗線については、一部工事に着手いたしました。

引き続き、関係地権者の皆様にご協力をお願いし、事業を進めてまいります。

次に、津波避難施設整備事業について申し上げます。

地震発生から津波到達までの時間的余裕がない場合や避難に時間を要する人の緊急避難場所として、矢指地区に築山の整備を行ってまいります。

今後も災害に強いまちづくりに取り組んでまいります。

次に、生涯活躍のまち構想について申し上げます。

この構想は、旭市総合戦略の重点戦略に位置付けられた地方創生を目的としたプロジェクトで、旭中央病院周辺に医療・介護機能や商業・サービス機能を有する居住空間を形成するとともに、道の駅「季楽里あさひ」との連携を図り、民間活力を融合させた拠点作りを行うことにより、人口の増加と雇用の機会を創出しようとするもので、その実現に向けて取り組んでいるところであります。

生涯活躍のまちが法制化されたことに伴い、現在、国への認定申請を行うため、地域再生計画「生涯活躍のまち・旭」の策定を進めているところであります。

また、構想の実現に向けた課題や問題を整理するため庁内に、旭市生涯活躍のまち構想推進会議を立ち上げ、検討を始めたところであります。

将来の旭市の発展のためには欠かせない重要な構想でありますので、今後、議会をはじめ、市民の意見も参考にしながら、実現に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

次に、平成29年度の基本施策の概要を、総合戦略に掲げた四つの基本目標に沿って申し上げます。

第一は、「魅力ある雇用を創出し、安心して働けるまちづくり」であります。

初めに、農水産業の振興について申し上げます。

園芸生産強化支援事業については、県下トップレベルの施設園芸の産地として、さらなる強化、拡大を進めるため、生産施設の整備や省力化機械等の導入に対し支援を行ってまいり

ます。

畜産競争力強化対策整備事業については、輸入品の増加や生産コストの上昇など、厳しい状況の中、持続可能な経営に向け、生産基盤の確保や国際競争力の強化を図るために行う飼養管理施設等の整備に対し、国、県の事業を活用し支援を行ってまいります。

水田農業構造改革推進事業については、安定的な水田農業を確立するため、飼料用米等による戦略作物の作付けを支援し、農業所得の向上につなげ、経営の安定化を図ってまいります。

農業基盤整備事業については、万力Ⅱ期地区が平成29年度で換地精算を終え、事業が完了いたします。継続している豊和地区、春海地区、飯岡西部地区については、早期完了に向けて関係機関と連携しながら、事業を進めてまいります。

また、担い手への農地の集積・集約を進めるため、農地中間管理機構の利用を促進してまいります。

農業後継者の確保については、市外からの新規農業者に対し、農業施設や機械取得の補助のほか、農地の借り入れに対する支援制度を創設するなど、市内での就農を推進してまいります。

漁港改修事業については、飯岡漁港の施設機能強化のため、千葉県において航路の浚渫工事を実施する予定であります。

今後も、漁業者等が漁港施設を安心して利用できるよう、関係機関と連携してまいります。

次に、商工業の振興について申し上げます。

商店街活性化事業については、旭市商業振興連合会の既存商店街の振興策として、プレミアム付き共通商品券発行事業のほか、商業の活性化を図るための事業に対し、商工会と連携を図りながら支援を行ってまいります。

工業振興支援事業については、旭市企業誘致条例による税制面での支援や、工業団地における生産環境の整備などにより、工業の振興を図ってまいります。

次に、雇用の確保について申し上げます。

企業誘致の推進については、千葉県及び関係機関はもとより、地元金融機関などとの連携を図りながら、誘致活動を推進してまいりましたが、4月に、飯岡地区において、東京に本社を置くIT企業のサテライトオフィスが操業の予定となっております。

また、雇用の場の確保とともに、若者定住促進事業として地元企業と就労希望者とのマッチングを行う合同企業説明会も引き続き行ってまいります。

今後も、地域経済の活性化と雇用の創出による若者の定住化を図るため、優良企業の誘致を推進してまいります。

第二は、「結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり」であります。

初めに、保健の充実について申し上げます。

健康相談・教育事業については、生活習慣病予防のため、メタボリックシンドローム該当者及び予備軍となる人への指導を行ってまいります。

感染症予防対策事業については、各種予防接種の実施により、感染症の拡大防止を図ってまいります。

がん検診、特定健康診査等事業については、対象者が受診しやすいように日程を調整し、女性専用日を設定するなど、受診率の向上を図ってまいります。

次に、スポーツの振興について申し上げます。

各種スポーツイベントの開催については、市民の一体感を醸成する事業として、旭市民体育祭、旭市民駅伝大会のほか、誰でも気軽に参加できる軽スポーツの集いなどを開催してまいります。

そのほか、千葉県東部五市体育大会、世界ジュニア卓球選手権大会男子日本代表選考会、千葉県高等学校駅伝競走大会が本市を会場として開催され、さらに未来（あした）への道1000km縦断リレーが予定されています。

今後も、スポーツ事業を推進し、本市の知名度アップを図ってまいります。

次に、子育て支援の充実について申し上げます。

子ども・子育て支援新制度については、子ども・子育て支援事業計画に基づき事業を実施してまいります。

本計画にあります認定こども園の普及については、平成29年度にいいおか飯岡幼稚園が認定こども園に移行し、市内の認定こども園は3園になります。認定こども園への移行は、低年齢児の受け入れ枠が増え、増加する低年齢児の保育ニーズにも対応できるものと考えておりますので、今後も支援を行ってまいります。

また、本市の子育て支援策の周知を図るため、子育てガイドの冊子を発行いたします。

赤ちゃん全戸訪問事業については、新生児が生まれた家庭を、保健師や助産師が訪問し、適切な助言を行うことにより、健全な子育てがなされるよう支援してまいります。

次に、地域福祉の充実について申し上げます。

臨時福祉給付金については、経済対策分の簡素な給付金として、市民税の均等割が非課税の方へ一人~~当~~あたり 1 万5,000円を給付いたします。今月下旬に対象者約 1 万2,700人へ通知を発送し、申請書の受付を開始いたしました。

次に、学校教育の充実について申し上げます。

学校いきいきプラン事業については、子どもたち一人ひとりが生き生きと輝く、特色のある教育活動を支援するため、補助金を交付し、学校教育の充実を図ってまいります。

小・中学校教諭補助員配置事業については、教諭補助員の配置により、国語や算数、数学など、基礎学力の向上を図るとともに、特別な支援を必要とする児童・生徒へのきめ細かな指導を行ってまいります。また、小学校外国語活動に補助員 3 名を配置することにより、外国語活動の充実と国際教育の推進を図ってまいります。

また、国際社会で活躍できる広い視野を持った人を育むために、英語力の向上を目的とした教育支援として、中学校を通じ英検 3 級を受験する生徒の検定料を全額補助してまいります。

今後もグローバル化に対応した教育の充実を図ってまいります。

小・中学校の適正規模・適正配置については、旭市学校のあり方検討委員会において、本市における児童・生徒数の推移を踏まえ引き続き検討を行い、平成29年度末までに教育委員会に対して提言がなされる予定であります。

学校大規模改修工事については、鶴巻小学校、古城小学校、中央小学校及び干潟中学校の 4 校の屋内運動場非構造部材の耐震化工事を実施してまいります。

次に、芸術文化の振興について申し上げます。

文化振興事業については、多くの市民の皆様楽しんでいただけるよう、市民参加型の事業として、音楽愛好者の相互交流と演奏発表の場となる市民音楽祭や、市民の各地域に伝わる郷土芸能の発表を行うあさひのまつりなどを実施するとともに、寄席や公演の開催、文化祭への支援、文化事業への補助など、市民ニーズに沿った文化振興事業を引き続き実施してまいります。

次に、青少年の健全育成について申し上げます。

青少年の健全育成の推進については、青少年意見発表大会、通学合宿や学校、地域、家庭との連携による地域子ども教室などを開催いたします。

次に、交流の促進について申し上げます。

スポーツ交流の促進については、旭市飯岡しおさいマラソン大会をはじめ、卓球やパーク

ゴルフ等のスポーツを通じた都市市民等との交流を促進してまいります。

オリンピック事前キャンプ地誘致については、千葉県を通じて、交流のあるドイツのデュッセルドルフ市において、世界卓球大会が5月に開催されることから訪問し、事前キャンプ地誘致のための活動を実施してまいります。

また、「東京2020事前トレーニングキャンプオンラインガイド」へ本市の情報を掲載するなど、世界へ向けての情報発信を行ってまいります。

第三は、「ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり」であります。初めに、安全で快適な道路の整備について申し上げます。

旭中央病院アクセス道については、平成29年度から本格的な道路改良工事に着手いたします。

飯岡海上連絡道の整備については、約1,100メートルが完成し、供用を開始いたしました。平成29年度は残りの区間の工事を実施してまいります。

なお、JR横断部分の工事をするため入り口部分の用地の協力を得たことから、JR横断部の修正設計業務をJR東日本に委託するところです。

南堀之内バイパスの整備については、未買収地を除く区間の工事に着手してまいります。早期完成に向けて、引き続き関係地権者のご協力をお願いしてまいります。

次に、安全・安心な水の供給について申し上げます。

施設整備事業については、既存の配水池についての耐震化を進め、災害に強い水道システムを構築するとともに、適正な容量の確保と自然流下区域の拡大を図ってまいります。

次に、良好な生活環境の形成について申し上げます。

都市計画区域の見直しについては、制度に対するご理解をいただくために、本年2月に市内5か所で説明会を開催しました。

今後も都市計画という共通のルールに基づいたまちづくりを目標に、引き続き説明会を重ねながら、区域の見直しを進めてまいります。

公共下水道については、施設の適正な維持管理を行い、供用開始区域の下水道への接続を促進してまいります。

蛇園南地区流末排水整備事業については、約2.5キロメートルが完了いたしました。残りの約1キロメートルの区間については、引き続き早期完成を目指し、事業を進めてまいります。

次に、良質な環境の保全について申し上げます。

環境ボランティア活動の支援については、環境の保全や美化を推進するため、市民やボランティア団体の皆様にご協力をいただきながら、きれいな旭をつくる運動を展開してまいります。

ごみ処理広域化の推進については、東総地区広域市町村圏事務組合において、銚子市野尻町地区を広域ごみ処理施設の計画地として、また、銚子市森戸町地区を広域最終処分場の計画地として、環境アセスメントの手続き等を実施しております。

広域ごみ処理施設については、施設建設及び運営に関する入札公告等を、広域最終処分場については、実施設計業務等を行う予定であります。

今後も、広域ごみ処理施設及び広域最終処分場の早期完成を目指し、組合及び構成市と連携を図ってまいります。

環境基本計画の見直しについては、3月に、新たな旭市環境基本計画の策定を完了いたします。この計画により、リデュース、リユース、リサイクルの「スリーアール」の推進や地球温暖化対策などの環境問題に対応してまいります。

市民、事業者と市が一体となって「環境にやさしいひと・環境にやさしいまち」を目指して、循環型社会を構築するための施策に取り組んでまいります。

第四は、「将来にわたって元気な地域をつくり、安全・安心で暮らしやすいまちづくり」であります。

初めに、高齢者福祉の充実について申し上げます。

介護予防の推進については、高齢者の健康づくりを促進し、介護予防に向けた支援と、住民が主体的に参加し自らが担い手となっていくような地域の支え合い体制を構築するとともに、高齢者が在宅生活を継続できるよう、地域における医療・介護が連携して包括的かつ継続的なネットワークづくりに努めてまいります。

次に、震災からの復興と防災力の強化について申し上げます。

被災者への支援については、津波により半壊以上の被害を受け、市内に住宅の再建をした世帯に支援を行う旭市津波被災住宅再建支援事業について、受付期間を延長し、支援してまいります。

なお、国の被災者生活再建支援制度及び県の液状化等被害住宅再建支援事業は、本年度を持って申請受付が終了となります。

防災体制支援事業については、東日本大震災を教訓に、地震や津波といった大規模な災害に備え、市民一人ひとりが適切な避難行動がとれるよう、津波浸水想定区域を対象とした津

波避難訓練を実施してまいります。

次に、消費者の保護について申し上げます。

消費者保護対策事業については、高齢者などの社会的弱者を狙った悪質商法による被害者や多重債務者を救済するため、消費生活相談員のレベルアップのための研修の充実を図り、市民に信頼される消費生活センターとして体制を強化してまいります。

また、消費者被害を未然に防ぐため各種講座等による啓発活動の実施や、消費生活サポーターとの連携の強化に努め、幅広い年齢層へ消費者問題に関する情報提供を行ってまいります。

次に、行政経営の推進について申し上げます。

新庁舎建設については、旭文化の杜公園を建設地とし、整備方針や施設計画を定めるための基本計画を策定しているところであり、策定後は、設計業務に取り組んでまいります。

議会や市民の皆様方の理解を得ながら早期完成を目指してまいりたいと考えております。

次に、自立のための財政の推進について申し上げます。

自主財源の確保については、市税を中心とする債権の回収に積極的に取り組んでまいります。市民負担の公平性を確保するため、債権券所管課相互の連携を図りながら、収納率の向上と滞納額縮減を目標とし、取り組んでまいります。

次に、資産マネジメント体制の確立について申し上げます。

公共施設等総合管理計画については、昨年9月に策定したところでありますが、今後は、全ての公共施設の具体的な長寿命化や再編の方策、時期などを定めた個別施設計画の策定に取り組んでまいります。

次に、平成29年度予算編成について申し上げます。

本市の財政状況は、歳入面においては、市税をはじめとした自主財源の大幅な増収は期待できず、また、歳入総額に占める割合の最も高い普通交付税は、合併算定替の段階的縮減が平成29年度は30%になるなど、引き続き歳入をめぐる環境は厳しい状況が続くものと見込まれております。

歳出面においては、高齢化等の進行による社会保障関係費の増加をはじめ、人口減少対策事業、合併関連事業、災害に強い地域づくりのための復興関連事業などで事業費の増が見込まれるとともに、平成29年度から新庁舎建設に事業や広域ごみ処理施設整備事業が本格化するなど、さらなる財政需要の増加が見込まれております。

このような状況のなか、平成29年度予算編成にあたっては、合併による国の財政支援の

終期を見据えた歳出の見直しを進めながら、「旭市総合戦略」や「旭市公共施設等総合管理計画」をはじめとした、各種計画に掲げる諸施策を確実に推進しつつ、本市の一体性の確立と均衡ある発展を目指すことを基本とし、一般会計の予算額を286億1,000万円としたものであります。

特別会計は病院事業債管理、国民健康保険事業、後期高齢者医療、介護保険事業、下水道事業、農業集落排水事業の6事業で、193億9,500万円、企業会計は、水道事業の1事業で、18億4,636万1,000円となり、市全体の当初予算の規模を498億5,136万1,000円としたところであります。

続いて、本会議に提案いたしました各議案の提案理由を申し上げます。

議案第1号は、平成29年度旭市一般会計予算の議決についてでありまして、予算規模は歳入歳出それぞれ286億1,000万円であります。

歳入の主なものは、1款市税に74億813万円、9款地方交付税に87億1,000万円、13款国庫支出金に28億2,465万5,000円、14款県支出金に28億9,882万8,000円、20款市債に20億5,430万円を計上いたしました。

次に、歳出の主なものは、2款総務費に31億2,516万6,000円、3款民生費に92億6,681万7,000円、4款衛生費に42億9,206万2,000円、8款土木費に31億315万5,000円、10款教育費に20億8,074万2,000円、12款公債費に28億6,819万6,000円を計上したところであります。

議案第2号は、平成29年度旭市病院事業債管理特別会計予算の議決についてでありまして、予算の規模を、歳入歳出それぞれ24億4,900万円とするものであります。

議案第3号は、平成29年度旭市国民健康保険事業特別会計予算の議決についてでありまして、予算の規模を事業勘定で106億3,000万円、施設勘定で9,000万円とするものであります。

議案第4号は、平成29年度旭市後期高齢者医療特別会計予算の議決についてでありまして、予算の規模を、歳入歳出それぞれ5億9,400万円とするものであります。

議案第5号は、平成29年度旭市介護保険事業特別会計予算の議決についてでありまして、予算の規模を、歳入歳出それぞれ49億円とするものであります。

議案第6号は、平成29年度旭市下水道事業特別会計予算の議決についてでありまして、予算の規模を、歳入歳出それぞれ5億8,000万円とするものであります。

議案第7号は、平成29年度旭市農業集落排水事業特別会計予算の議決についてでありまして、予算の規模を、歳入歳出それぞれ1億5,200万円とするものであります。

議案第8号は、平成29年度旭市水道事業会計予算の議決についてでありまして、年度末の

給水件数を2万100件、年間給水量を580万4,457立方メートルと見込み、事業収益を15億7,785万5,000円と予定いたしました。

議案第9号は、平成28年度旭市一般会計補正予算の議決についてでありまして、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ11億5,800万円を追加し、予算の総額を343億3,800万円とするものであります。

議案第10号は、旭市公共施設等整備基金条例の制定についてでありまして、公共施設等の整備に必要な財源を適正に管理、運用するため、基金を設置するものであります。

議案第11号は、旭市空家等の適切な管理に関する条例の制定についてでありまして、適切な管理が行われていない空家等に対し、必要な措置を講ずることで、市民が安全で安心して暮らすことのできる生活環境を保全するため、必要な事項を定めるものであります。

議案第12号は、旭市職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例の制定についてでありまして、地方公務員の育児休業等に関する法律及び介護休業等育児又は介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部改正等に伴い、所要の改正を行うものであります。

議案第13号は、旭市非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、旭市文化振興基金条例の廃止に伴い、所要の改正を行うものであります。

議案第14号は、旭市税条例等の一部を改正する条例の制定について、議案第15号は、旭市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、いずれも地方税法等の一部改正に伴い、所要の改正を行うものであります。

議案第16号は、旭市児童遊園設置条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、足川浜児童遊園及び関戸児童遊園を廃止するにあたり、所要の改正を行うものであります。

議案第17号は、旭市介護保険条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、低所得者の介護保険料の軽減強化を継続して実施するにあたり、所要の改正を行うものであります。

議案第18号は、旭市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について、議案第19号は、旭市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、ともに、厚生労働省令の一部改正に伴い、所要の改正を行うものであります。

議案第20号は、旭市文化振興基金条例を廃止する条例の制定についてでありまして、文化振興基金の初期の目的を達成したため、条例を廃止するものであります。

議案第21号は、和解及び損害賠償の額を定めることについてでありまして、蛇園南地区流末排水整備事業排水路整備工事の施工に起因する地盤変動により生じた家屋等への損害に係る和解及び損害賠償の額を定めることつき、議会の議決を求めるものであります。

議案第22号は、指定管理者の指定についてでありまして、旭市海上キャンプ場の指定管理者を指定するにあたり、議会の議決を求めるものであります。

議案第23号は、市道路線の認定及び変更についてでありまして、道路整備により5路線を、路線組替えにより4路線を認定し、3路線を変更するにあたり、議会の議決を求めるものであります。

議案第24号、議案第25号及び議案第26号は、人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについてでありまして、現委員のうち、平成29年6月30日をもって任期満了となる委員の後任の委員候補者を法務大臣に推薦するにあたり、議会の意見を求めるものであります。

私は齋木龍恵氏、嶋田春子氏及び堀江通洋氏が適任であると考え、提案するものであります。

以上、新年度を迎えるにあたり、市政運営に対する基本的な考え方をお示しし、重点的に取り組む施策の概要とともに、今回提案いたしました各議案の趣旨をご説明いたしました。

詳しくは事務担当者から説明し、また、ご質問に応じてお答えいたしますので、何とぞご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

以上です。

○議長（佐久間茂樹） 施政方針並びに提案理由の説明は終わりました。

◎日程第7 議案の補足説明

○議長（佐久間茂樹） 日程第7、議案の補足説明。

議案の補足説明は途中ですが、ここで11時まで休憩いたします。

休憩 午前10時48分

再開 午前11時 0分

○議長（佐久間茂樹） 休憩前に引き続き会議を開きます。

議案の補足説明を求めます。

議案第1号について、財政課長、登壇してください。

（財政課長 伊藤憲治 登壇）

○財政課長（伊藤憲治） 議案第1号、平成29年度旭市一般会計予算の議決について、補足説明を申し上げます。

予算書をご用意ください。

予算の内容について、前年度と比較しながら、主なものを説明いたします。

それでは、1ページをお開きください。

第1条は、歳入歳出予算の総額を286億1,000万円と定めるもので、対前年度比3億4,000万円、1.2%の増となりました。

第2条の継続費、第3条の債務負担行為、第4条の地方債につきましては、後ほど説明いたします。

第5条は、一時借入金の限度額を20億円と定めるものです。

第6条は、歳出予算中、各項の間で流用できる経費を給料、職員手当等及び共済費と定めるものです。

次の2ページから8ページまでは、歳入歳出予算であります。これらの内容につきましては、13ページ以降の事項別明細書の中で説明いたします。

9ページをお願いいたします。

第2表、継続費です。

2款1項総務管理費新庁舎建設事業について、設計等委託料分として継続費の総額及び年割額を定めるものであります。

10ページをお願いいたします。

第3表、債務負担行為です。

表の1番目から7番目までは、例年設定している農業・漁業・中小企業及び東日本大震災に係る利子補給と損失補償について、下から2行目は市勢要覧作成事業について、一番下は農業振興地域整備計画改定支援業務委託料について、それぞれ記載のとおり、期間と限度額を設定するものです。

11ページをお願いいたします。

第4表、地方債です。

起債の目的と限度額、起債の方法、利率、償還の方法を定めるもので、総額として20億5,430万円を計上しております。

次に13ページと14ページは、歳入歳出予算事項別明細書の総括ですので説明は省略しまして、15ページの歳入から順を追って説明いたします。

それでは、15ページをお願いいたします。

1款市税のうち、1項1目個人市民税は、対前年度比5.8%の増で、30億4,194万2,000円を見込みました。

2目法人市民税については、対前年度比12.2%の増で、4億7,770万円6,000円を見込みました。

2項1目固定資産税は、土地、家屋、償却資産ともに増収と見込み、対前年度比1.9%の増で、28億8,817万4,000円を見込みました。

16ページをお願いいたします。

3項1目軽自動車税は、対前年度比13.6%の増で、1億9,158万4,000円を見込みました。

4項1目市たばこ税は、対前年度比1.3%の減で、5億4,668万1,000円を見込みました。

次に、17ページの一番下になりますが、2款地方譲与税から20ページの9款地方交付税までは、地方財政計画や県の推計などを考慮して見込んだもので、主なものを申し上げますと、まず、17ページに戻っていただきまして一番下、2款1項1目地方揮発油譲与税は、対前年度比19.0%の増で、1億円を見込みました。

18ページをお願いいたします。

2項1目自動車重量譲与税は、対前年度比2.3%の増で、2億2,000万円を見込みました。

下の19ページになります。

6款地方消費税交付金は、対前年度比7.3%の減で、10億8,000万円を見込みました。

7款自動車取得税交付金は、対前年度比21.3%の増で、9,700万円を見込みました。

20ページをお願いいたします。

9款地方交付税です。このうち普通交付税は、合併算定替の縮減など、また、特別交付税は、復興交付金関連事業分の減などを見込み、交付税全体では対前年度比1.9%の減で、87億1,000万円を計上しました。

少し飛んで、24ページをお願いいたします。

13款国庫支出金です。1項1目民生費国庫負担金については、対前年度比2.9%の増となっていますが、これは主に3節児童福祉費国庫負担金、説明欄3児童手当負担金の増や説明欄5子どものための教育・保育給付費負担金の増などによるものであります。

下の25ページになります。

2項1目総務費国庫補助金は、対前年度比68.4%の減となっていますが、これは主に、前年度に計上していた災害公営住宅の家賃低廉化に係る東日本大震災復興交付金や社会保障・税番号制度システム整備費補助金の事業が終了したことによるものです。

2目民生費国庫補助金は、対前年度比10.6%の減となっております。主な理由は、1節社会福祉費国庫補助金のうち、前年度に計上していた臨時福祉給付金給付事業費補助金や年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業費補助金の事業が終了したことなどによるものであります。

3目衛生費国庫補助金は、対前年度比3.4%の増となりました。主な理由は、説明欄2循環型社会形成推進交付金の増によるものです。

4目土木費国庫補助金は、対前年度比11.1%の増となっています。主な理由は、1節道路橋梁費国庫補助金で、社会資本整備総合交付金の増によるものです。

5目教育費国庫補助金は、対前年度比85.0%の減となっています。主な理由は、26ページをお願いいたします。

2節小学校費国庫補助金と3節中学校費国庫補助金のうち、前年度に計上していた学校施設環境改善交付金の減によるものです。

3項委託金は、合計が下の27ページになりますが、対前年度比2.5%の増で、2,235万1,000円を見込みました。主な理由は、2目1節社会福祉費委託金の国民年金事務費交付金の増によるものです。

改めて、27ページをお願いいたします。

14款県支出金ですが、1項1目民生費県負担金は1.0%の減で、主な理由は、1節社会福祉費県負担金、説明欄3保険基盤安定負担金が、国民健康保険税の軽減世帯数の減などにより減少したためであります。

2目衛生費県負担金は39.0%の減で、これは養育医療費負担金の減によるものです。

28ページをお願いいたします。

2項1目民生費県補助金は73.1%の増で、主な理由は、2節老人福祉費県補助金、説明欄3介護施設等整備事業交付金1億4,850万9,000円の新規計上や3節児童福祉費県補助金で、

次のページになりますが、説明欄3子ども医療対策事業費補助金の増によるものです。

2目衛生費県補助金は17.3%の減で、主な理由は、説明欄6住宅用省エネルギー設備導入促進事業費補助金の減によるものです。

3目農林水産業費県補助金は521.0%の大幅な増で、主な理由は、説明欄7「輝け！ちばの園芸」産地整備支援事業費補助金の増、それと30ページになりますが、説明欄12畜産競争力強化対策整備事業費補助金、さらに説明欄16経営体育成基盤整備事業促進費補助金の新規計上などによるものです。

4目商工費県補助金は38.2%の減で、主な理由は、前年度に計上していた観光費県補助金の事業が完了したことによるものです。

下の31ページをお願いいたします。

6目消防費県補助金は22.2%の減で、主な理由は、説明欄1消防防災施設強化事業費補助金の減によるものです。

7目教育費県補助金は193.8%の増で、これは主に説明欄2文化財保存整備事業費補助金の新規計上によるものです。

3項1目総務費委託金は35.5%の減で、主な理由は、前年度に執行された参議院議員選挙や千葉県知事選挙に係る委託金の減によるものです。

少し飛んで、34ページをお願いいたします。

17款2項1目庁舎整備基金繰入金は、対前年度比3,300万円増の5,700万円を計上しました。

2目災害復興基金繰入金は、対前年度比1億4,595万7,000円減の8,931万1,000円を計上しました。

3目東日本大震災復興交付金基金繰入金は、対前年度比8,735万1,000円減の3億7,513万円を計上しました。

下の35ページになります。

4目地域振興基金繰入金は、対前年度比7,485万1,000円減の1億132万2,000円を計上しました。

5目ふるさと応援基金繰入金は、1,210万円を計上しております。

37ページをお願いいたします。

19款5項4目旭中央病院共済費は、対前年度比9,057万7,000円減の5億7,515万5,000円を計上しました。

38ページをお願いいたします。

20款市債は、全体では、39ページにありますとおり5億9,670万円の減となっております。このうち、1目総務債は、新庁舎建設事業債を計上しております。

2目衛生債は、水道事業一般会計出資債と広域ごみ処理施設整備事業債を計上しております。

前年度と比べて減の主な理由は、海上配水場増池工事の完了による水道事業一般会計出資債の減によるものです。

3目農林水産業債は、農業基盤整備事業債、農業水利施設改修事業債、広域営農団地農道整備事業債を計上しています。

4目土木債は、説明欄1 蛇園南地区流末排水整備事業債から次のページの一番上、説明欄6 冠水対策排水整備事業債までの6本を計上しています。

5目消防債は、消防施設整備事業債で消防庫と非常備消防自動車を、また、防災基盤整備事業債で築山を計上しています。

なお、前年度と比べて大幅に減となった主な理由は、はしご車など常備消防自動車分の減と築山の事業費減によるものです。

6目臨時財政対策債は、1.9%の減となっております。

以上で、歳入の説明を終わります。続いて、歳出につきまして、前年度と比較しながら、主な事業を説明いたします。

それでは、42ページをお願いいたします。

1款1項1目議会費は、対前年度比236万6,000円減の2億3,898万9,000円を計上しました。次に、2款総務費ですが、少し飛びまして、55ページをお願いいたします。

1項2目人事管理費は、3.0%の減で、主な理由は、57ページになります。上のほうですが、説明欄3 一部事務組合等負担金のうち千葉県市町村職員共済組合負担金、旭中央病院分の減などによるものです。

59ページをお願いいたします。

4目財政管理費は、94.8%の減で、主な理由は、60ページになります。説明欄3 東日本大震災復興交付金基金積立金の減によるものです。

少し飛びまして、67ページをお願いいたします。

8目電子計算費は、31.2%の減で、主な理由は、68ページになりますが、説明欄2 電算システム運用事業のうち、13節電算業務委託料の減によるものです。

71ページをお願いいたします。

10目地域振興費は6.5%の減で、主な理由は、73ページ%をお願いいたします。一番下になりますが、説明欄8地域振興基金積立金の減によるものです。

74ページをお願いいたします。

11目庁舎建設費は、7,059万6,000円の増で、主な理由は、13節調査・設計委託料で、新庁舎建設のための基本設計策定業務委託料等を新規に計上したことによるものです。

少し飛びまして、78ページをお願いいたします。

2項2目賦課徴収費は、13.7%の減で、主な理由は、説明欄1の調査賦課事務費のうち79ページになりますが、13節不動産鑑定委託料の減によるものです。

81ページをお願いいたします。

3項1目戸籍住民基本台帳費は4.4%の減で、主な理由は、説明欄1戸籍住民基本台帳関係職員給与費の減によるものです。

84ページをお願いいたします。

4項3目市長選挙費の計上と86ページになりますが、4目市議会議員選挙費については、平成29年度の執行経費を計上したものです。

次に、3款民生費です。少し飛びまして、96ページをお願いいたします。

1項1目社会福祉総務費は、減で、主な理由は、前年度に計上していた臨時福祉給付金給付事業の終了によるものです。

また少し飛びまして、100ページをお願いいたします。

2目障害者福祉費は、減で、主な理由は、104ページになりますが、説明欄10の自立支援給付事業で、20節扶助費の減によるものです。

106ページをお願いいたします。

4目国民健康保険費は、減で、主な理由は、説明欄2国民健康保険事業特別会計繰出金の減によるものであります。

109ページをお願いいたします。

2項2目後期高齢者医療費は増で、主な理由は、説明欄2広域連合負担金の増によるものであります。

110ページをお願いいたします。

3目生活支援費は大幅な増で、主な理由は、下の111ページの一番下になりますが、説明欄7地域密着型サービス拠点等整備事業の新規計上によるものです。

113ページをお願いいたします。

3項1目児童福祉総務費は29.1%の増で、主な理由は、115ページをお願いいたします。
説明欄9認定こども園施設型給付事業の増や、少し飛んで118ページになりますが、説明欄
16民間教育・保育施設改築事業9,270万6,000円の新規計上などによるものです。

121ページをお願いいたします。

5目障害児福祉費は12.3%の増で、主な理由は、説明欄1障害児通所支援事業の増による
ものです。

6目保育所費は5.2%の増で、主な理由は、少し飛びまして、125ページになりますが、説
明欄5民間認可保育所運営費給付事業の増によるものです。

126ページをお願いいたします。

4項2目扶助費は、減で、これは生活保護扶助費が減となったことによるものです。

次に、4款衛生費です。130ページをお願いいたします。

1項1目保健衛生総務費は増で、主な理由は、飛びまして136ページをお願いいたします。
説明欄11旭中央病院負担金の増によるものです。

また少し飛びまして、142ページをお願いいたします。

4目環境衛生費は増で、主な理由は、説明欄2環境衛生事務費のうち、下の143ページに
なりますが、19節の東総地区広域市町村圏事務組合負担金の増によるものです。

次に、5款労働費ですが、また飛びまして、156ページをお願いいたします。

5款労働費については、0.1%の増となっております。

次に、6款農林水産業費です。158ページをお願いいたします。

1項1目農業委員会費は増で、主な理由は、説明欄1農業委員報酬が新制度移行により増
となったことによるものです。

少し飛びまして、162ページをお願いいたします。

3目農業振興費は増で、主な理由は、164ページの一番上になりますが、説明欄5水田農
業構造改革推進事業における飼料用米の作付面積の増加等に伴う補助金の増や、説明欄9園
芸生産強化支援事業における「輝け！ちばの園芸」産地整備支援事業補助金の増によるもの
です。

また、少し飛びまして、168ページをお願いいたします。

4目畜産振興費は大幅な増で、主な理由は、下の169ページです。説明欄3畜産競争力強
化対策整備事業における補助金9億5,312万1,000円の新規計上によるものです。

172ページをお願いいたします。

2項1目林業総務費は減で、主な理由は、説明欄2保安林植栽事業の15節植栽工事費の減によるものです。

次に、7款商工費です。179ページをお願いいたします。

1項2目商工振興費は減で、主な理由は、181ページの一番下になります。説明欄6旭市特産品開発事業の減によるものです。

183ページをお願いいたします。

3目観光費は増で、主な理由は184ページになりますが、説明欄2観光資源創出プロモーション事業のうち、下の185ページに記載があります13節観光プロモーション支援業務委託料の増によるものです。

次に、8款土木費になります。191ページをお願いいたします。一番下をご覧ください。

2項1目道路橋梁総務費は減で、主な理由は、説明欄1道路橋梁事務費のうち、前年度に計上していた道路占用業務に係る台帳整備委託料の完了によるものです。

194ページをお願いいたします。下のほうになります。

3目道路新設改良費は1億4,962万8,000円、8.9%の増で、主な理由は、下の195ページになります。説明欄2道路新設改良事業の増や、それと198ページになりますが、説明欄8冠水対策排水整備事業の増などによるものです。

4目橋梁維持費は減で、主な理由は、説明欄1橋梁長寿命化修繕事業のうち、13節調査・設計委託料の減によるものです。

201ページをお願いいたします。

3項2目街路費は減で、主な理由は、説明欄1街路維持管理費のうち、前年度に計上していた飯岡駅駐輪場整備工事の完了によるものです。

202ページをお願いいたします。

4目公園費は増で、主な理由は、204ページになりますが、説明欄3旭スポーツの森公園整備事業の新規計上によるものです。

同じ204ページの一番下になります。

4項1目住宅管理費は減で、主な理由は、206ページの一番下になりますが、説明欄4市営住宅改修事業のうち、市営住宅改修工事の減によるものです。

208ページをお願いいたします。

2目住宅建設支援費は減で、主な理由は、説明欄2津波被災住宅再建支援事業の減によるものです。

次に、9款消防費です。212ページをお願いいたします。

1項1目日常備消防費は減で、主な理由は、前年度に計上していたはしご車の購入など、消防車両購入費の減によるものです。

214ページをお願いいたします。

2目非常備消防費は減で、主な理由は217ページになりますが、説明欄5消防庫整備事業や説明欄6消防団車両整備事業の減によるものです。

3目災害対策費は減で、主な理由は220ページになります。説明欄4津波避難施設整備事業の15節津波避難施設整備工事費の減や用地購入の終了などによるものです。

次に、10款教育費です。222ページをお願いいたします。一番下になります。

1項2目事務局費は増で、主な理由は、少し飛びまして227ページになりますが、説明欄12教育の情報化推進事業の増などによるものであります。

229ページをお願いいたします。

2項1目学校管理費は減で、主な理由は、231ページの一番下になります。説明欄4小学校大規模改造事業が、平成29年度は、干潟小学校体育館の防災機能強化工事に係る設計業務委託料のみの計上としたためであります。

232ページをお願いいたします。

2目教育振興費は増で、主な理由は、次の233ページの一番下になりますが、説明欄6小学校教諭補助員配置事業の4節共済費が、社会保険の適用拡大により増えたためであります。

235ページをお願いいたします。

3項1目学校管理費は減で、主な理由は237ページの一番下になりますが、説明欄4中学校大規模改造事業が、平成29年度は、第二中学校体育館の防災機能強化工事に係る設計業務委託料のみの計上としたためであります。

大きく飛びまして、267ページをお願いいたします。267ページでございます。

5項1目保健体育総務費は増で、主な理由は、269ページをお願いいたします。

説明欄3、東京オリンピック事前キャンプ地誘致事業の新規計上によるものです。

270ページをお願いいたします。

2目体育施設費は減で、主な理由は、飛びまして274ページになりますが、説明欄5社会体育施設改修事業で、前年度に計上していた総合体育館の空調設備設置工事の完了によるものです。

次に、12款公債費です。

また飛びまして、286ページをお願いいたします。

1目元金は増、2目の利子は減となっております。

次に、13款諸支出金です。288ページをお願いいたします。

2項1目水道事業公営企業費は大幅な減で、主な理由は、説明欄2水道事業会計出資金が海上配水場増池工事の完了により減となったためであります。

290ページをお願いいたします。

14款の予備費は、4,000万円を計上するものです。

以上で、歳出の主な内容についての説明を終わります。

続きまして、その下の291ページをご覧ください。

ここから296ページまでは、給与費明細書となっております。今ご覧いただいております1の特別職の表は、長等、議員、その他の特別職について、本年度と前年度を比較したものです。

次の292ページをお願いいたします。

2一般職のうち(1)の総括は、一般職の職員数、給与費、共済費について前年度と比較したものです。職員数は、前年度に比べて13人の減で、金額は合計で6,919万1,000円の減となっております。

このほかの内容は、293ページ以降に記載のとおりでございます。

また飛びまして、297ページをお願いいたします。

この表は、新庁舎建設事業の設計等委託料に係る平成29年度から平成32年度までの4年間の継続費に関する調書となっております。

次に、298ページをお願いいたします。ここから300ページまでは、債務負担行為に関する調書で、支出が平成30年度以降にわたるものについての支出予定額を記載したものでございます。

最後になります。301ページをお願いいたします。

この表は、地方債に関する調書でございます。一番下の計のところをご覧ください。左から順に、平成27年度末の現在高で278億7,468万円、その右が28年度末現在高見込額で282億3,075万2,000円、その右が29年度中の起債見込額で20億5,430万円、その右が29年度中の元金償還見込額で26億6,255万3,000円です。そして一番右が29年度末の現在高見込額で276億2,249万9,000円となる見込みでございます。

以上で、議案第1号の補足説明を終わります。

○議長（佐久間茂樹） 財政課長の補足説明は終わりました。

議案第2号について企画政策課長、登壇してください。

（企画政策課長 横山秀喜 登壇）

○企画政策課長（横山秀喜） 議案第2号、平成29年度旭市病院事業債管理特別会計予算の議決について、補足説明を申し上げます。

恐れ入りますが、予算書の303ページをご覧ください。

第1条にありますように、歳入歳出予算の総額をそれぞれ24億4,900万円といたしました。少し飛びまして、309ページをご覧ください。

歳入の1款諸収入として、貸付金元利収入22億4,900万円を計上しました。これは、病院事業債の元利償還金分としての地方独立行政法人会計からのものであります。

また、2款市債として病院債2億円を計上しました。これは、病院が医療機器を購入するために貸し付ける長期貸付金の財源として借り入れるものであります。

310ページをご覧ください。

歳出の1款事業費ですが、貸付金として2億円を計上しました。これは、歳入で計上しました病院債をそのまま法人に貸し付けるものです。

歳出の2款公債費は、1目元金17億9,472万9,000円及び2目利子4億5,472万1,000円、合わせて22億4,900万円を計上しました。これは、歳入で計上しました貸付金元利収入をそのまま償還するものです。

311ページをご覧ください。

説明申し上げました歳入歳出の結果、平成29年度末の病院債現在高を219億4,708万8,000円と見込んでおります。

以上で、議案第2号の補足説明を終わります。

○議長（佐久間茂樹） 企画政策課長の補足説明は終わりました。

議案第3号、議案第4号について、保険年金課長、登壇してください。

（保険年金課長 高木松夫 登壇）

○保険年金課長（高木松夫） 議案第3号、平成29年度旭市国民健康保険事業特別会計予算について、補足説明を申し上げます。

予算書の313ページをお願いいたします。

第1条にございますように、歳入歳出予算の総額を事業勘定は106億3,000万円、施設勘定は9,000万円と定めるものであります。

第2条の一時借入金は、限度額を事業勘定1億円、施設勘定1,000万円と定めるものであります。

第3条は、歳出予算中、款内において流用できる経費を保険給付費と定めるものであります。

次の314ページから320ページは、歳入歳出予算であります。これらの内容は、321ページ以降の国民健康保険事業特別会計予算に関する説明書の中でご説明いたします。

初めに、事業勘定からご説明いたします。

321ページと322ページは、歳入歳出予算事項別明細書の総括ですので、説明は省きまして、323ページの歳入から予算の内容について、順を追ってご説明いたします。

324ページをお開きください。

1款国民健康保険税の合計額は23億1,121万9,000円、前年度に対し9,196万2,000円、3.8%の減を見込みました。

内訳であります。323ページに戻っていただきまして、1項1目一般被保険者国民健康保険税が22億6,866万8,000円、これは、一般被保険者に係る医療給付費分と後期高齢者支援金分、それと介護納付金分の合計であります。

2目退職被保険者等国民健康保険税は4,255万1,000円、これは、退職被保険者等に係る医療給付費分と後期高齢者支援金分、それと介護納付金分の合計であります。

325ページをお願いいたします。

4款国庫支出金1項1目療養給付費等負担金は、国の定率負担で18億2,820万1,000円を見込みました。

2目高額医療費共同事業負担金は、市が納付する拠出金に対して、国・県がそれぞれ4分の1を負担するもので、国の負担分を7,742万円1,000円と見込みました。

3目特定健康診査事業費等負担金は、特定健診に係る基準費用に対し国が3分の1を負担するもので、1,499万7,000円と見込みました。

2項1目財政調整交付金は3億8,678万円を見込みました。内訳は、説明欄1調整対象需要額と調整対象収入額との差額分が交付される普通調整交付金3億7,372万9,000円と説明欄2特別の事情がある場合に応じて交付される特別調整交付金1,305万1,000円であります。

5款療養給付費等交付金は1億2,728万6,000円を見込みました。これは、退職被保険者等の医療費等に対する交付金でありまして、65歳未満の該当者に係る交付となります。

326ページをお願いいたします。

6款前期高齢者交付金は15億4,026万9,000円を見込みました。これは、前期高齢者65歳から74歳までの方々の加入者数が多い国民健康保険に対しまして、前期高齢者の占める割合が少ない社会保険等が、医療保険者間の医療費負担の調整を図るという国の政策によりまして、国保財政への支援という名目で交付されるものであります。

7款県支出金、1項1目高額医療費共同事業負担金は、国と同額の7,742万1,000円を見込みました。

2目特定健康診査事業費等負担金も国と同額の1,499万7,000円を見込みました。

2項1目県財政調整交付金は4億8,894万9,000円を見込みました。内訳は、説明欄1療養給付費に応じて交付される普通調整交付金3億6,671万2,000円と説明欄2財政健全化等の施策に応じて交付される特別調整交付金1億2,223万7,000円であります。

327ページをお願いいたします。

8款共同事業交付金は26億121万5,000円を見込みました。これは、80万円を超えるものが高額医療に対する交付金と、対象が1円から80万円までの医療費に対する交付金の二本立てとなっております。

10款繰入金、1項1目一般会計繰入金は7億4,265万8,000円を見込みました。これは、1節の保健基盤安定繰入金から、328ページになりますが、4節財政安定化支援事業繰入金までのルール分として5億3,265万8,000円及び5節その他一般会計繰入金として2億1,000万円であります。

2項1目財政調整基金繰入金は、3億5,400万円を見込みました。

329ページをお願いいたします。

12款諸収入、1項延滞金及び過料は1,550万1,000円を見込みました。

3項1目後期高齢者医療広域連合受託事業収入は2,266万7,000円を見込みました。これは、国保の特定健診に併せ、後期高齢者の健康診査に係る千葉県後期高齢者医療広域連合からの受託収入であります。

330ページをお願いいたします。

4項1目一般被保険者第三者納付金700万円は、交通事故等の治療費に係る国保立替分の納付金であります。

5目雑入の主なものは、説明欄1人間ドック自己負担収入1,651万7,000円を見込みました。続きまして、歳出についてご説明申し上げます。

331ページをお願いいたします。

1 款総務費、1 項 1 目一般管理費は3,552万2,000円を見込みました。主な内訳といたしましては、説明欄 1、12 節役務費として通信運搬費及び手数料1,311万4,000円、13 節委託料として、レセプト点検及び電算業務等として1,960万円であります。

332ページをお願いいたします。

2 項 1 目賦課徴収費は1,635万1,000円を見込んでおります。主に、説明欄 1、12 節役務費639万3,000円及び13 節電算機保守委託料841万円であります。

333ページをお願いいたします。

2 款保険給付費、1 項療養諸費は、1 目一般被保険者療養給付費49億1,000万円が主でありまして、合計は334ページをご覧ください。50億8,571万2,000円、前年度に対し1億7,151万5,000円、3.3%の減を見込みました。

2 項高額療養費は、1 目一般被保険者高額療養費8億200万円が主でありまして、合計は335ページをご覧ください。8億2,060万円、前年度に対し8,310万円、11.3%の増を見込みました。

336ページをお願いいたします。

4 項 1 目出産育児一時金の4,202万1,000円は、1 件当たり42万円で100件を見込みました。

5 項 1 目葬祭費の825万円は、1 件当たり5万円で165件を見込みました。

3 款後期高齢者支援金は12億2,929万円を見込みました。これは、後期高齢者に係る医療費を支えるため、被保険者一人当たりの負担見込額に各保険者の該当数を掛けて算出するものであります。

338ページをお願いいたします。

6 款介護納付金は5億5,618万2,000円を見込みました。これは、国保加入者のうち40歳以上65歳未満の第2号被保険者分の納付金として、社会保険診療報酬支払基金に納めるものであります。

7 款共同事業拠出金は339ページの合計欄をご覧ください。

26億4,313万2,000円を見込みました。これは、歳入でも申し上げましたが、対象医療費が80万円を超えるものの高額医療費共同事業拠出金及び1円から80万円の保険財政共同安定化事業拠出金の二本立てからなるものであります。

8 款保健事業費は1億3,301万1,000円を見込みました。これは、主な事業として、説明欄 1 特定健康診査等事業が8,889万円、説明欄 2 特定保健指導事業が333万6,000円、340ページになります、説明欄 3 短期人間ドック事業が3,887万3,000円を見込みました。

342ページをお願いいたします。

11款諸支出金 1 項償還金及び還付加算金は1,062万8,000円を見込みました。

343ページをお願いいたします。

3 項 1 目直営診療施設運営費は1,030万円を見込みました。これは、旭中央病院へ国・県補助金を、国保会計を経由して助成するものであります。

4 項 1 目他会計繰出金は30万円を見込みました。これは、滝郷診療所の国交付金を施設勘定へ繰り出すものであります。

344ページをお願いいたします。

12款予備費は、前年度と同額の3,000万円を見込みました。

345ページは、給与費明細書であります。

続きまして、施設勘定についてご説明申し上げます。

347ページと348ページは、歳入歳出予算事項別明細書の総括ですので説明は省きまして、349ページの歳入から予算の内容について、順を追ってご説明いたします。

349ページよろしいでしょうか。

1 款 1 項外来収入は6,962万円、前年度に対し138万2,000円、1.9%の減を見込みました。減の主な要因は、平成28年度薬価引き下げの影響を受け、減額となるものであります。

2 項 1 目諸検査等収入は493万3,000円、前年度に対し34万3,000円、7.5%の増を見込みました。これは、予防接種等の一般健康診査料が主なものであります。

351ページをお願いいたします。

6 款 1 項他会計繰入金は、一般会計より地方交付税算入分として710万円及び国保事業勘定より30万円を見込みました。

352ページをお願いいたします。

2 項基金繰入金は740万円を計上いたしました。これは、収支不足を補填するため、財政調整基金からの繰入であります。

7 款繰越金は、30万円を見込みました。

続きまして、歳出についてご説明申し上げます。

354ページをお願いいたします。

1 款総務費、1 項 1 目一般管理費4,818万2,000円を見込みました。主に、職員給与費と診療所に係る事務費と管理費であります。

357ページをお願いいたします。

2 款医業費、1 項 3 目医薬品衛生材料費は3,802万5,000円、前年度に対し45万3,000円、1.2%の増と見込むものであります。

360ページから363ページは、給与費明細書であります。

以上で、議案第3号の補足説明を終わります。

続きまして、議案第4号、平成29年度旭市後期高齢者医療特別会計予算について、補足説明を申し上げます。

予算書の365ページをお願いいたします。

第1条にございますように、歳入歳出予算の総額を5億9,400万円と定めるものであります。

次の366ページ、367ページは、歳入歳出予算であります。これらの内容は、369ページ以降の後期高齢者医療特別会計予算に関する説明書の中で説明いたします。

369ページ、370ページは、事項別明細書の総括ですので、説明を省かせていただきます。

371ページをお願いいたします。

初めに、歳入についてご説明申し上げます。

1 款保険料 4 億517万4,000円、前年度に対し2,376万1,000円、6.2%の増を見込みました。内訳として、1 項 1 目 1 節現年度分特別徴収保険料に2億8,370万7,000円、2 目現年度分普通徴収保険料に1億2,017万円、3 節滞納繰越分普通徴収保険料に129万7,000円であります。

徴収方法としましては、年金受給額に応じまして、年金から特別徴収する特別徴収と納付書等による普通徴収となります。

2 款繰入金は、一般会計から1億7,573万6,000円、前年度に対し232万8,000円、1.3%の増を見込みました。内容としましては、徴収事務等に係る事務経費と保険料の軽減分に対する県と市の負担分を繰り入れるものであります。

3 款繰越金は1,000万円を見込みました。

372ページをお願いいたします。

4 款諸収入、2 項償還金及び還付加算金は166万9,000円を見込みました。これは、過年度における資格の喪失等に伴い、納め過ぎた保険料を精算するもので、広域連合より全額が補填されることから計上するものであります。

続きまして、歳出についてご説明申し上げます。

374ページをお願いいたします。

1 款総務費、1 項 1 目一般管理費は、広域連合に代わって各種届出を処理するための事務

的経費で1,212万3,000円を見込みました。

2項1目徴収費は、保険料の徴収に要する経費で、237万9,000円を見込みました。

375ページをお願いいたします。

2款広域連合納付金は5億7,282万6,000円を見込みました。これは、徴収した保険料と保険料の軽減分に対する県と市の負担分をそのまま広域連合へ支出するものであります。

3款諸支出金1項償還金及び還付加算金は167万2,000円を見込みました。これは、過年度分における資格の喪失等に伴い、納め過ぎた保険料を還付するものであります。

376ページをお願いいたします。

4款予備費は、前年度と同額の500万円を見込みました。

以上で、議案第4号の補足説明を終わります。

○議長（佐久間茂樹） 保険年金課長の補足説明は終わりました。

議案の補足説明は途中ですが、昼食のため午後1時10分まで休憩いたします。

休憩 午後 零時 5分

再開 午後 1時10分

○議長（佐久間茂樹） 休憩前に引き続き会議を開きます。

引き続き、議案の補足説明を求めます。

議案第5号について、高齢者福祉課長、登壇してください。

（高齢者福祉課長 宮内 隆 登壇）

○高齢者福祉課長（宮内 隆） 議案第5号、平成29年度旭市介護保険事業特別会計予算の議決について、補足説明を申し上げます。

予算書の377ページをお願いいたします。

第1条は、歳入歳出予算の総額を49億円と定めるものであります。

第2条では、歳出の予算中各項において、流用できる経費は保険給付費とするものでございます。

次の378ページから384ページまでは、説明を省略させていただきまして、385ページの歳入から、予算の内容について主なものをご説明いたします。

385ページをお願いいたします。

1 款保険料、1 項 1 目第 1 号被保険者保険料は 9 億 9,624 万 7,000 円で、保険料基準額は年額 5 万 4,000 円、納付義務者数を 1 万 9,582 人と見込み、対前年度 3.5% の増で計上いたしました。

内訳は、1 節現年度分特別徴収保険料を、現年度分の 89.9% に当たる 9 億 421 万円とし、2 節現年度分の普通徴収保険料には 8,553 万 4,000 円、3 節過年度分の普通徴収保険料には 650 万 3,000 円を見込みました。

2 款国庫支出金、1 項 1 目介護給付費負担金には 8 億 1,847 万 9,000 円を、2 項 1 目調整交付金は、介護保険の財政調整を行うために交付されるものでございまして、保険給付費の 5.48%、2 億 5,312 万円を見込み、2 目地域支援事業交付金には 5,862 万 8,000 円を見込みました。

386 ページをお願いいたします。

3 款支払基金交付金、1 項 1 目介護給付費交付金は、第 2 号被保険者の介護給付金に係る社会保険診療報酬支払基金からの交付金で 12 億 9,331 万 9,000 円を、2 目地域支援事業支援交付金には 3,715 万 8,000 円を見込みました。

4 款県支出金、1 項 1 目介護給付費負担金は 6 億 8,269 万 4,000 円、2 項 1 目地域支援事業交付金には 2,931 万 3,000 円を見込みました。

387 ページをお願いいたします。

6 款繰入金、1 項 1 目介護給付費繰入金には 5 億 7,737 万 6,000 円、2 目地域支援事業繰入金には 3,123 万 5,000 円、3 目介護保険事務費繰入金には 6,470 万 6,000 円、4 目低所得者保険料軽減繰入金には 931 万円、そして 388 ページをお願いいたします。

2 項 1 目介護保険給付費準備基金繰入金には 4,265 万円を計上いたしました。

389 ページをお願いいたします。

8 款 2 項 2 目雑入の 576 万 1,000 円は、説明欄記載のとおり、配食サービス事業の利用収入を見込みました。

以上で、歳入関係の説明を終わります。

続きまして、390 ページをお願いいたします。

歳出の主なものについてご説明いたします。

1 款総務費、1 項 1 目一般管理費は、一般事務費経費として 1,614 万 1,000 円を計上いたしました。

391 ページをお願いいたします。

2項1目賦課徴収費は、介護保険料の賦課徴収に係る事務経費としまして314万6,000円を計上いたしました。

3項1目介護認定審査会費は、審査会の開催回数を週2回から3回、年間115回と見込み、2,663万3,000円を計上いたしました。

392ページをお願いいたします。

2目認定調査費は、認定調査に係る経費といたしまして1,799万5,000円を見込みました。

394ページをお願いいたします。

2款保険給付費は、ここに保険給付費の総額の記載はございませんが、総額は46億1,899万4,000円で、対前年度2.5%の増を見込みました。

1項1目の居宅介護サービス給付費は、訪問介護、通所介護、短期入所生活介護、福祉用具貸与などのサービス給付費で、利用者を1,543人と見込み、15億362万9,000円を計上いたしました。

2目地域密着型介護サービス給付費は、原則として旭市民のみが利用できるサービスでございますが、利用人数を地域密着型の通所介護に418人、グループホームに57人、小規模特別養護老人ホームに45人を見込み、5億9,319万9,000円を計上いたしました。

3目施設介護サービス給付費は、老人福祉施設に432人、老人保健施設に215人、療養型医療施設に2人の合計649人の利用を見込み、18億9,321万7,000円を計上いたしました。

395ページをお願いいたします。

6目居宅介護サービス計画給付費は、2億5,702万7,000円を見込みました。

396ページをお願いいたします。

2項1目介護予防サービス給付費は、要支援者の保険給付費で、利用者を129人と見込み、2,295万4,000円を計上いたしました。

398ページをお願いいたします。

3項1目審査支払手数料は、千葉県国民健康保険連合会が行う審査支払の手数料としまして、339万5,000円を見込みました。

4項1目高額介護サービス費は、8,850万円を計上いたしました。

400ページをお願いいたします。

6項1目特定入所者介護サービス費は、施設入所者への低所得者対策としまして、食費・居住費の補足給付分で、2億2,048万8,000円を計上いたしました。

401ページをお願いいたします。

5款1項1目介護予防・生活支援サービス事業費は、介護予防・日常生活支援総合事業による予防給付で、利用人数を訪問型サービスで100人、通所型サービスで355人と見込み、1億618万4,000円を計上いたしました。

402ページをお願いいたします。

2目介護予防ケアマネジメント事業費は、要支援認定者及び事業対象者を対象とした事業費でございます、2,574万5,000円を見込みました。

404ページをお願いいたします。

3項1目包括的支援事業費は、地域包括支援センターが実施する総合相談等の経費と包括的支援関係職員及び生活支援体制整備関係職員の人件費を見込み、4,279万5,000円を計上いたしました。

406ページをお願いいたします。

4項1目任意事業費は3,014万5,000円を見込み、説明欄記載の家族介護用品給付事業、介護相談員派遣事業、そして407ページに移りまして、配食サービス事業などを実施いたします。

410ページをお願いいたします。

7款予備費には、1,000万円を計上いたしました。

411ページから415ページまでは、給与費明細書となっております。

以上で、議案第5号の補足説明を終わります。

○議長（佐久間茂樹） 高齢者福祉課長の補足説明は終わりました。

議案第6号について、下水道課長、登壇してください。

（下水道課長 高野和彦 登壇）

○下水道課長（高野和彦） 議案第6号、平成29年度旭市下水道事業特別会計予算の議決について、補足説明を申し上げます。

予算書417ページをお願いいたします。

第1条は、歳入歳出予算の総額を5億8,000万円と定めるもので、対前年度1,200万円、2.1%の増でございます。

第2条の地方債につきましては、後ほど第2表でご説明申し上げます。

第3条の一時借入金、最高額は2億円と定めるものでございます。

418ページから420ページの第1表、歳入歳出予算でございますが、これらの内容につきましては、後ほど423ページ以降の事項別明細書の中で説明させていただきます。

421ページをお願いいたします。

第2表地方債です。起債の目的と限度額、起債の方法、利率、償還の方法を定めるもので、3,230万円を計上するものでございます。

423ページ、424ページは事項別明細書の総括ですので、説明を省かせていただきます。

425ページをお願いいたします。

初めに、歳入の主なものについてご説明申し上げます。

1款分担金及び負担金、1項1目下水道事業負担金631万8,000円は、本年度で高額な受益者負担金が完納となることにより、対前年度1,483万2,000円、70.1%減となっております。

2款使用料及び手数料、1項1目下水道使用料は、本年度の実績及び新規接続分により8,941万5,000円で、対前年度412万4,000円、4.4%減となっております。

3款国庫支出金、1項1目下水道事業費国庫補助金の956万3,000円は、下水道ストックマネジメント策定の補助金に係るもので、対前年度956万2,000円の増となっております。

426ページをお願いいたします。

5款繰入金、1項1目一般会計繰入金は3億9,400万7,000円で、対前年度2,469万8,000円、6.7%増を見込みました。

6款繰越金は、前年度繰越金で3,500万円を見込みました。

427ページをお願いいたします。

8款市債、1項1目下水道債は3,230万円で、対前年度840万円、35.1%増を見込みました。続きまして、歳出の主なものについてご説明させていただきます。

429ページをお願いいたします。

1款総務費、1項1目一般管理費は、本事業に係ります職員給与費及び管理経費8,659万5,000円で、対前年度2,000万2,000円、30.0%増となっております。これは、本年度まで事業費に計上しておりました維持管理関係職員3人の給与費を総務費へ移行し、8人としたことによるものです。

431ページをお願いいたします。

2款事業費、1項1目維持管理費、説明欄1施設維持管理費は、職員給与費を総務費へ移行したことと修繕料の減により、1億5,333万6,000円で、対前年度3,823万4,000円、20.0%減を見込みました。

432ページをお願いいたします。

2款事業費、2項1目工事費、説明欄1下水道改修事業2,612万5,000円で、対前年度

1,789万7,000円、217.5%増を見込みました。433ページの説明欄の13節委託料に、下水道ストックマネジメント策定のための調査・設計委託料1,912万7,000円を見込んだことによるものです。これは、施設情報を収集・整理してリスクを評価し、長期的な改築事業シナリオ及び点検・調査計画の実施方針を策定するものでございます。

3款公債費、1項1目元金は2億3,750万円で、対前年度1,741万9,000円、7.9%増。

2目利子につきましては、7,344万4,000円で、対前年度508万4,000円、6.5%減となっております。

以上で、歳出の説明を終わらせていただきます。

435ページから439ページは職員の給与費明細書でございます。

440ページをお願いいたします。

地方債の現在高の見込みに関する調書でございます。

平成29年度末の現在高見込額は35億6,445万7,000円となる見込みでございます。

以上で、議案第6号の補足説明を終わらせていただきます。

○議長（佐久間茂樹） 下水道課長の補足説明は終わりました。

議案第7号について、農水産課長、登壇してください。

（農水産課長 宮負賢治 登壇）

○農水産課長（宮負賢治） 議案第7号、平成29年度旭市農業集落排水事業特別会計予算の議決について、補足説明を申し上げます。

予算書の441ページをご覧ください。

第1条は、平成29年度当初予算の総額を、歳入歳出それぞれ1億5,200万円と定めるもので、前年度予算額の1億2,900万円に対しまして17.8%の増であります。

第2条の地方債につきましては、後ほどご説明申し上げます。

442ページ、443ページの第1表歳入歳出予算の説明は省略させていただきまして、444ページをご覧ください。

第2表地方債は、起債の目的と限度額、起債の方法、利率、償還の方法を定めるもので、3,690万円を計上するものでございます。

445ページ、446ページの歳入歳出予算事項別明細書の総括の説明は省略させていただきまして、447ページをご覧ください。

歳入です。

1款分担金及び負担金、1項1目受益者分担金は84万円で、前年度と同額であります。

2 款使用料及び手数料、1 項 1 目施設使用料は1,720万1,000円で、対前年度23万3,000円、1.3%の減であります。この施設使用料は、現に農業集落排水施設を使用している世帯の実績及び新規に使用する世帯の見込みで計上いたしました。

3 款県支出金、1 項 1 目農業集落排水事業県補助金は5,448万円で計上いたしました。こちらは、平成28年度から着工した江ヶ崎地区の管路施設改修工事の補助金であります。

4 款繰入金、1 項 1 目一般会計繰入金は3,415万4,000円で、対前年度537万円、13.6%の減であります。これは、歳入歳出の差し引き不足額を一般会計から繰り入れるものでございます。

448ページをご覧ください。

5 款繰越金、1 項 1 目繰越金842万2,000円は、前年度繰越金であります。

次の449ページへまいりまして、7 款市債、1 項 1 目下水道債3,690万円は農業集落排水事業債でありまして、対前年度690万円、23%の増であります。

以上で、歳入の説明を終わります。

続きまして、450ページをご覧ください。

歳出です。

1 款総務費、1 項 1 目一般管理費は、農業集落排水事業にかかわる職員の人件費及び管理経費970万7,000円で、対前年度1万4,000円、0.1%の増であります。

次の451ページへまいりまして、2 款事業費、1 項 1 目維持管理費は2,095万1,000円で、対前年度268万8,000円、11.4%の減であります。

説明欄 1 の江ヶ崎地区排水施設維持管理費は1,460万2,000円で、主なものは光熱水費466万3,000円、維持補修費599万5,000円、施設維持管理委託料302万3,000円であります。

続きまして、452ページ、説明欄 2 の琴田地区排水施設維持管理費は634万9,000円で、主なものは光熱水費184万2,000円、施設維持管理委託料240万5,000円であります。

次の453ページへまいりまして、2 目資源循環事業費39万1,000円は、農業集落排水処理施設から排出される汚泥の処理費用であります。

次に、2 款事業費、2 項 1 目工事費1億43万5,000円は、先ほど歳入でもご説明いたしましたが、江ヶ崎地区の管路施設改修に係る工事費であります。

454ページをご覧ください。

3 款公債費、1 項 1 目元金1,541万2,000円、2 目利子376万4,000円は、農業集落排水施設整備に伴う借入金の償還金であります。

次に、4款繰出金、1項1目繰出金84万円は、一般会計への繰出金であります。

以上で、歳出の説明を終わります。

次に、456ページをご覧ください。

給与費明細書ですが、職員数、給与費、共済費、職員手当等について、前年度との比較表であります。

次の457ページから459ページは、説明を省略させていただきます。

460ページをご覧ください。

地方債の現在高に関する調書でありまして、表の一番右の欄ですが、29年度末現在高見込額は2億5,026万3,000円であります。

以上で、議案第7号の補足説明を終わりにさせていただきます。

○議長（佐久間茂樹） 農水産課長の補足説明は終わりました。

議案第8号について、水道課長、登壇してください。

（水道課長 加瀬宏之 登壇）

○水道課長（加瀬宏之） 議案第8号、平成29年度旭市水道事業会計予算の議決について、補足説明を申し上げます。

予算書の1ページ目をお開きください。

第1条は、総則でございます。

第2条は、業務の予定量で、（1）給水件数を2万100件、年間給水量を580万4,457立方メートルとし、1日平均給水量を1万5,903立方メートルと予定いたしました。

（2）主要な建設改良事業は、配水管布設工事に6,148万円、海上配水池耐震補強工事に1億2,927万6,000円、配水管布設替工事に4,755万円を予定いたしました。

2ページ目をご覧ください。

第3条では、収益的収入及び支出の予定額を、それぞれ記載額のとおり定めました。

第4条では、資本的収入及び支出の予定額を、それぞれ記載額のとおり定めました。

なお、資本的収支の不足額2億982万4,000円につきましては、過年度分の損益勘定留保資金などで補填いたします。

4ページ目をお開きください。

第5条は、企業債であり、海上配水池耐震補強工事に9,360万円を借り入れるものでございます。

第6条は、一時借入金の限度額を8,000万円と定めるものであります。

第7条は、予定支出の各項で流用ができる場合を定めるものであります。

5ページ目をお開きください。

第8条は、議会の議決を得なければ流用することのできない経費を定めるものであります。

第9条は、棚卸資産の購入限度額を438万3,000円と定めるもので、これは量水器などの購入費を予定したものでございます。

次のページからは、水道事業会計予算に関する説明書となります。

7ページ目をお開きください。

平成29年度旭市水道事業会計予算実施計画でございます。

収益的収入ですが、1款水道事業収益は15億7,785万5,000円で、前年度に比べ2,012万9,000円、1.3%の増を予定いたしました。

1項営業収益は15億2,218万5,000円で、主なものは、1目給水収益15億490万5,000円の水道料金であります。この有収水量は561万1,432立方メートルを見込んでおります。

次に、8ページ目をお開きください。

支出の部ですが、1款水道事業費用は14億2,836万円で、前年度に比べ1,426万1,000円、1%の減を予定いたしました。

1項営業費用は13億8,099万円で、このうち主なものは、1目原水及び浄水費8億5,226万1,000円と、5目の固定資産の減価償却費2億4,600万3,000円でございます。

次の9ページは、資本的収入及び支出でございます。

収入の部でございますが、1款資本的収入で2億817万7,000円、前年度に比べて3億9,795万4,000円、65.7%の減を予定いたしました。主な内訳といたしまして、1項1目企業債が9,360万円で、海上配水池耐震補強工事分を、2項1目出資金が5,330万円で、一般会計からの出資金を見込んでおります。

支出の部は、1款資本的支出4億1,800万1,000円で、前年度に比べ3億4,497万円、45.2%の減を予定いたしました。

1項建設改良費は3億5,718万8,000円を予定いたしました。

1目拡張工事費は、負担要綱に基づく配水管布設工事費などで8,036万円、2目改良工事費は海上配水池耐震補強工事及び配水管布設替工事費などで2億2,472万6,000円、3目固定資産取得費は飯岡配水場塩素滅菌設備の更新などで5,210万2,000円を見込んでおります。

次に、12ページをお開きください。

12ページから15ページまでは、職員給与関係の明細となっております。

次の16ページから18ページにつきましては、平成29年度末の予定貸借対照表となっております。

また、19ページから23ページにつきましては、平成28年度の予定損益計算書及び平成28年度末の予定貸借対照表でございます。

内容につきましては記載のとおりでございますので、よろしくお願いいたします。

以上で、議案第8号の補足説明を終わります。

○議長（佐久間茂樹） 水道課長の補足説明は終わりました。

議案第9号について、財政課長、登壇してください。

（財政課長 伊藤憲治 登壇）

○財政課長（伊藤憲治） 議案第9号、平成28年度旭市一般会計補正予算の議決について、補足説明を申し上げます。

それでは、別冊のほう、補正予算書の1ページをお開きください。

第1条は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ11億5,800万円を追加し、予算の総額を343億3,800万円とするものです。

第2条繰越明許費の補正と第3条地方債の補正につきましては、後ほど説明いたします。

2ページと3ページは、歳入歳出予算の款項の補正額ですので説明を省略しまして、内容は事項別明細書により説明いたします。

4ページをお願いいたします。

第2表の繰越明許費補正は、上段の表が4事業の追加で、下段の表は2事業の金額変更でございます。

初めに、追加する事業でございますが、2款3項戸籍住民基本台帳費、住民基本台帳事務費については、個人番号カード交付事業費補助金が、国の指導により交付決定額全額を翌年度に繰り越すものであります。

6款1項農業費、産地パワーアップ事業については、集出荷施設の整備工事に対する補助金で、国・県との協議などに不測の日数を要し、年度内に工事を完了することができないため、繰越明許費を設定するものであります。

同じく畜産競争力強化対策整備事業については、国のTPP関連対策による畜産農家への施設整備費に対する補助金で、事業で使用する材料や機械等の納入に不測の日数を要し、年度内に工事を完了することができないため、繰越明許費を設定するものであります。

10款3項中学校費、中学校大規模改造事業については、第一中学校校舎の大規模改造工事及び干潟中学校体育館の防災機能強化工事について、国の交付金の前倒し採択があったため、繰越明許費を設定するものであります。

次に、変更ですが、8款2項道路橋梁費、震災復興・津波避難道路整備事業については、契約が見込まれている用地購入について、家屋等の移転が伴い、年度内に支払が完了しないおそれがあるため、土地購入費と物件補償費を追加し、金額を変更するものでございます。

10款2項小学校費、小学校大規模改造事業については、中央小学校体育館の防災機能強化工事について、国の交付金の前倒し採択があったため、繰越明許費の金額を変更するものです。

5ページをお願いいたします。

第3表、地方債補正です。

一番上の農業農村整備事業は、国のTPP関連対策による県営基盤整備事業の事業費の増加に伴い、旭市の負担額が増額されたため、起債の限度額を増額するものでございます。

その下の2事業につきましては、先ほども申し上げましたが、国の交付金の前倒し採択により事業費が増えたため、起債の限度額を増額するものでございます。

次に、7ページと8ページですが、これは歳入歳出予算事項別明細書の総括ですので、説明は省略しまして、9ページの歳入から順を追って説明いたします。

9ページをお願いいたします。

9款1項1目地方交付税4億4,819万円の追加は、普通交付税の留保分について、今回の補正財源として計上するものです。

13款2項5目教育費国庫補助金1億2,846万1,000円の追加は、2節小学校費国庫補助金と3節中学校費国庫補助金の、いずれも、先ほど第2表の繰越明許費補正で説明しましたとおり、国の交付金の前倒し採択により事業費が増えたため、増額するものでございます。

14款2項4目農林水産業費県補助金6,248万7,000円の減は、集出荷施設の整備工事について、入札執行による事業費の減額により、産地パワーアップ事業費補助金を減額するものでございます。

16款1項1目総務費寄附金900万円の追加は、ふるさと応援寄附制度による寄附金の増によるものであります。

10ページをお願いいたします。

17款2項5目東日本大震災復興交付金基金繰入金3億6,319万3,000円の減は、津波避難道

路、横根三川線の事業費の減に伴うものであります。

18款1項1目繰越金5億1,692万9,000円の追加は、留保しておりました繰越金を全て今回の補正財源として計上するものがございます。

20款市債につきましても、先ほど第3表の地方債補正で説明したとおりでございます。

以上で、歳入の説明を終わりました、続いて、歳出について説明いたします。

12ページをお願いいたします。

2款1項1目一般管理費5億円の追加は、公共施設等整備基金への積立金を新規に計上するものがございます。

6目財産管理費5億円の追加は、減債基金への積立金でございます。

7目企画費900万円の追加は、ふるさと応援基金への積立金でございます。

4款1項1目保健衛生総務費1億734万3,000円の追加は、繰出基準としております普通交付税及び特別交付税の病院算定分の増加に伴う、旭中央病院運営費負担金の増であります。

13ページをお願いいたします。

6款1項3目農業振興費6,248万7,000円の減は、先ほど歳入で説明しましたとおり、集出荷施設の事業費の減少でございます。なお、この事業は平成29年度への繰越事業となっております。

5目農地費5,545万4,000円の追加は、先ほど第3表の地方債補正で説明しましたとおり、県営基盤整備事業に係る旭市の負担金が増額されたため、経営体育成基盤整備事業負担金と広域農業基盤緊急整備促進事業負担金を増額するものがございます。

8款2項3目道路新設改良費4億9,648万6,000円の減は、説明欄1震災復興・津波避難道路整備事業の道路改良工事及び物件補償費について、横根三川線の年度内執行が困難であるため減額するものがございます。なお、本事業についても翌年度へ繰り越す事業となっております。

14ページをお願いいたします。

10款2項1目学校管理費6,293万6,000円の追加及び下の表、3項1目学校管理費4億8,224万円の追加は、いずれも、先ほど第2表の繰越明許費補正で説明しましたとおり、国の交付金の前倒し採択により事業費が増えたため増額するものがございます。

最後に、15ページをお願いいたします。

この表は、地方債の現在高の見込みに関する調書でございます。事業費の変更により、平成28年度の起債額を、真ん中の列にありますとおり4億8,110万円増額するもので、これに

よりまして平成28年度末現在高見込額は、一番右下になりますが、287億1,185万2,000円とするものでございます。

以上で、議案第9号の補足説明を終わります。

○議長（佐久間茂樹） 財政課長の補足説明は終わりました。

議案第10号について、行政改革推進課長、登壇してください。

（行政改革推進課長 浪川 昭 登壇）

○行政改革推進課長（浪川 昭） 議案第10号、旭市公共施設等整備基金条例の制定について、補足説明を申し上げます。

本条例は、昨年9月策定の旭市公共施設等総合管理計画において創設を明示した基金を設置するもので、将来の財政状況の変動に長期的に対応できるよう、施設整備に必要な財源を計画的に確保し、適正に管理運用することを目的として制定するものであります。

それでは、議案の条文をご覧ください。

第1条は、基金の設置について規定するものです。

第2条は、基金の積み立てについて規定するものです。

第3条は、基金の管理について、第4条は、基金の運用から生じる運用益金の処理について、第5条は、基金の繰り替え運用について規定するものです。

第6条は、基金の処分についてでありまして、基金は公共施設等の整備及び保全に要する費用の財源として活用することを規定するものです。

第7条は、委任事項について規定するものです。

附則につきましては、本条例の施行日を公布の日からとするものです。

以上で、議案第10号の補足説明を終わります。

○議長（佐久間茂樹） 行政改革推進課長の補足説明は終わりました。

議案の補足説明は途中ですが、ここで午後2時10分まで休憩いたします。

休憩 午後 1時54分

再開 午後 2時10分

○議長（佐久間茂樹） 休憩前に引き続き会議を開きます。

引き続き、議案の補足説明を求めます。

議案第11号、議案第12号について、総務課長、登壇してください。

(総務課長 加瀬正彦 登壇)

○総務課長（加瀬正彦） 議案第11号及び議案第12号について、補足説明を申し上げます。

最初に、議案第11号、旭市空家等の適切な管理に関する条例の制定についてでございます。

本条例は、空家等対策の推進に関する特別措置法の施行に伴いまして、適切な管理のされていない空家、これが特定空家等の状態にならないよう、自らの責任において適切な管理を行うという所有者の責務を明らかにするとともに、市の対策を規定することで、市民が安全で安心して暮らすことのできる生活環境の保全を目的として制定するものであります。

まず、第1条でございます。この条例の制定の目的について規定しています。

第2条では、この条例で使われている用語の定義について規定しております。

第3条では、空家等の所有者等の責務を明確にし、第4条は、市の責務として関係機関と連携し、この条例の目的達成のために必要な施策を実施することを規定しております。

第5条は、市民の役割として、空家等に関する情報提供を促すものとして規定し、第6条は、市が必要に応じて警察や消防等、その他関係機関に協力を求め、情報提供を行うことができることについて規定しております。

第7条は、緊急安全措置についてです。

第1項では、危険な状態が切迫しているなど、緊急に応急措置を講じなければならない危険な空家等について、市が必要最低限の措置をとることができるものと定めたものです。

第2項は、第1項に基づき行った措置の内容を、所有者等に通知することを規定しています。

第3項は、第1項に基づき措置を行った空家等の所有者等が判明しない時に、当該措置の内容等を告示することを規定し、第4項では、緊急安全措置の実施に係る費用は、所有者等から徴収することを定めております。

第8条は、民事による解決との関係を規定しており、空家等の事案という性質上、当事者間または民対民の民事による解決が優先する旨を明記したものであります。

第9条の委任につきましては、この条例の施行に関する実施の基準、具体的な手続きや様式などについて、規則で定めることを規定しています。

また、附則といたしまして、本条例は平成29年4月1日より施行するものでございます。

以上で、議案第11号、旭市空家等の適切な管理に関する条例の制定についての補足説明を終わります。

続きまして、議案第12号、旭市職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例について、補足説明を申し上げます。

今回の改正は、民間労働法制に即した見直しとして、人事院勧告等を踏まえた国家公務員に係る規定の改正内容に準じて改正するものであります。

主な改正点は、特別養子縁組関係、それと介護休業関係規定の改正及び年次有給休暇の暦年管理から年度管理とするため、改正をしております。

条建てによる改正条文となっております。

第1条、第2条で、旭市職員の育児休業等に関する条例の一部改正。

第3条、第4条で、旭市職員の勤務時間・休暇等に関する条例の一部改正、また、第5条で旭市水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正することでございます。

これについては、新旧対照表でご説明申し上げます。

1ページをお願いいたします。新旧対照表の1ページです。

主な改正点をご説明申し上げます。

まず、第1条関係です。

旭市職員の育児休業等に関する条例の第2条の2として、養子縁組里親として職員に委託しようとしたけれども、児童の親等の同意が得られなかったため、養育里親として職員に委託された子について、育児休業等の対象で職員が養育する子の範囲の拡大の部分を条例で定めるというものを追加します。

1ページから2ページにかかりますが、第3条については、育児休業は条例で定める特別の事情のある場合を除き、同一の子について1回とされているところがございますが、1号の中で育児休業をしている職員が産前、もしくは出産した場合と、第5条の規定による取り消し事由について一つの号で規定したものを、職員が養育する子の範囲が拡大されたことによりまして、第1号と第2号とで分けて、第2号に拡大部分として、再度の育児休業等ができる特別の事情について、特別養子縁組の成立に係る家事審判事件の終了を追加するということになっております。

3ページ、お願いいたします。

第21条です。部分休業の承認の関係になります。

第2項で、取得できる時間の制限、これは1日2時間なんですけれども、この後、第3条関係で説明させていただきますが、旭市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正で、

新たに追加となる介護時間について追加いたしまして、合わせて2時間までとするよう規定するものでございます。

続いて、4ページです。

ここは、第2条の関係になります。

第1条関係で追加した条項、第2条の2のうち、里親であって養子縁組によって養い親、養親となることを希望している者を養子縁組里親に改正するという内容です。

続いて、5ページです。

第3条の関係につきましては、これもこの範囲の拡大として第9条第1項で特別養子縁組の監護期間中の子及び養子縁組里親に委託されている子、その他これらに準ずるものとして規則で定めるものを加えます。

5ページが一番下の行から6ページになりますが、第3項については、要介護者を介護する職員について、育児を行う職員に準用させ、深夜勤務の制限のみを規定しておりましたけれども、第3項で時間外勤務の制限、第4項で深夜勤務の制限と、それぞれ分けて規定することとしています。

第12条は、休暇の種類に介護時間を加えます。

第16条は、第1項で、対象家族について要介護者として整理をし、次の7ページになりますけれども、介護休暇の分割取得について、介護を必要とする1の継続する状態ごとに3回以内、通算6月を上限とすることを規定するものであります。

次に、第16条の2であります。

介護時間について新たに規定をするもので、第1項で取得可能期間について、介護を必要とする者1人につき、連続する3年の期間内として規定。

第2項で、1日につき2時間を超えない範囲内で必要と認められる時間と定め、第3項で、1時間当たりの減額を規定しております。

続いて、9ページから11ページになりますが、前条までの改正に伴う文言の整理、それから第4条関係になりますが、休暇の付与を暦年管理から年度管理とするため、年の部分について年度と改めるものであります。

続いて、12ページになります。

第5条関係につきましては、旭市水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正であります。

第18条の給与の減額について、第2項で介護休暇の対象家族について、要介護者として整

理をいたしまして、介護時間の関係について新たに追加しております。

そのほか、改正に係る条項のずれ、読み先条文の整理を行っております。

議案に戻っていただきまして、議案の5ページの附則をお願いいたします。

改正条文の附則につきましてでございます。

第1で施行期日を公布の日からとしております。

第2条及び第4条につきましては、平成29年4月1日とするものであります。

第2で、介護休暇が分割取得できるようになったための経過措置を、第3から第5で、年次有給休暇について暦年管理から年度管理に移行するための経過措置を定めたものでございます。

以上で、補足説明を終わります。

○議長（佐久間茂樹） 総務課長の補足説明は終わりました。

議案第13号、議案第20号、議案第22号について、生涯学習課長、登壇してください。

（生涯学習課長 高木昭治 登壇）

○生涯学習課長（高木昭治） 議案第13号、旭市非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

新旧対照表の13ページをお願いいたします。

文化振興基金条例の廃止に伴い、同基金を財源とした文化事業に対し意見を述べ、調査審議するために設置されている文化振興審議会が解散となることから、当該委員の報酬について、表の左側、現行の別表第1、中段の文化振興審議会委員の項を削除するものであります。

なお、この条例は、平成29年3月31日から施行するものであります。

以上で、議案第13号の補足説明を終わります。

続きまして、議案第20号、旭市文化振興基金条例を廃止する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

旭市文化振興基金の残高が事業の実施に伴い年々減少し、来年度以降、基金を財源とした文化振興事業の実施が困難となることが見込まれることから、廃止するものであります。

なお、基金の廃止により、今後の文化振興事業の財源につきましては、一般財源等を充当していく予定となっております。

なお、この条例は平成29年3月31日から施行するものであります。

以上で、議案第20号の補足説明を終わります。

続きまして、議案第22号、指定管理者の指定について、補足説明を申し上げます。

旭市海上キャンプ場の指定管理者の指定について、旭市公の施設に係る指定管理者の手続き等に関する条例第2条の規定によりまして、指定管理者の公募を行い、市民の代表及び学識経験者等を含めた旭市指定管理者候補者選定委員会において審査の結果、海上キャンプ場の管理運営業務に適当な候補者として選定されたものであります。

1、指定管理者に管理を行わせる公の施設の名称、旭市海上キャンプ場。

2、指定管理者となる団体、千葉県美浜区真砂3丁目3番7号、株式会社塚原緑地研究所、代表取締役、塚原道夫。

3、指定の期間、平成29年4月1日から平成32年3月31日までの3年間でございます。

以上で、議案第22号の補足説明を終わります。

○議長（佐久間茂樹） 生涯学習課長の補足説明は終わりました。

議案第14号、議案第15号について、税務課長、登壇してください。

（税務課長 渡邊 満 登壇）

○税務課長（渡邊 満） 議案第14号、旭市税条例等の一部を改正する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

今回の改正は、社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための地方税法及び地方交付税法の一部を改正する法律等の一部を改正する法律及び地方税法施行令の一部を改正する政令等の一部を改正する政令の施行及び地方税法の改正により、市民税等減免の申請期限を延長することに伴い、旭市税条例等を改正する必要が生じたので、旭市税条例等の一部を改正する条例を制定するものです。

それでは、お配りしてあります旭市税条例新旧対照表をお願いいたします。

14ページをお開きください。

附則第7条の3の2、個人の市民税の住宅借入等特別税額控除については、個人市民税における住宅借入金等特別税額控除の適用期間を延長するものです。

15ページをお開きください。

第18条中の3中の改正規定を削除するものです。

次に、第19条各号列記以外の部分中については、軽自動車税の環境性能割を削除するものです。

16ページをお開きください。

第34条中の4中、「100分の12.1」を「100分の8.4に改める」、を削除するものです。

第80条第1項及び第2項を次のように改める、から22ページの附則第15条の6まで削除す

るものです。

23ページをお開きください。

附則第16条第1項中、種別割の削除に伴い文言の整理を行い、軽自動車税のグリーン化特例の1年間の延長に係る規定を整備するものです。

25ページをお開きください。

第1条の2、旭市税条例の一部を次のように改正する。

第18条の3中、「軽自動車税」を「種別割」に改め、第19条各号列記以外の部分中の文言の整理を行い、第34条中、法人割税率を「100分の12.1」を「100分の8.4」に改めるものです。

第80条第1項及び第2項を、軽自動車税は環境性能により所有者に種別割によって課するに改めるものです。

第2項は、前項に規定する者には、法第443条第2項に規定する者は含まないものとし、文言の整理を行うものです。

第81条、軽自動車税のみなす課税については、みなす課税について規定するものです。

27ページをお開きください。

第81条の2、日本赤十字社が所有する軽自動車等に対する軽自動車税の非課税の範囲については、救急用のものに対しては軽自動車税を課さない。

第81条の3、環境性能割の課税標準から、28ページの第81条の8、環境性能割の減免については、環境性能割の規定について定めるものです。

30ページをお開きください。

第83条から第91条第2項中までは、「軽自動車税」を「種別割」に改めるものです。

31ページをお開きください。

第15条の2、軽自動車税の環境性能割の賦課徴収の特例から、32ページの第15条の6、軽自動車税の環境性能割の税率の特例については、環境性能割の導入時期が変更となったことに伴う規定について定めるものです。

33ページをお開きください。

附則第1条、施行期日については、法人税割の税率引き下げ及び軽自動車税の環境性能割の導入の時期が変更となったことに伴う施行期日を変更するものです。

34ページをお開きください。

第2条、市民税に関する経過措置について、第3項は項ずれで、第2条の2は、法人税割

の税率引き下げの時期が変更となったことに伴う規定の整備を行うものです。

35ページをお開きください。

第3条の2、軽自動車税に関する経過措置については、軽自動車税環境性能割の導入の時期が変更になったことに伴う軽自動車税グリーン化特例の1年延長に係る経過措置を新設するものです。

第4条については、軽自動車税環境性能割の導入の時期が変更になったことに伴う適用年度を変更するものです。

36ページをお開きください。

第51条、市民税の減免、第71条、固定資産税の減免、第89条、軽自動車税の減免、37ページの第90条、身体障害者等に対する軽自動車税の減免及び38ページの第139条の3、特別土地保有税の減免については、地方税法等の改正に伴い、減免申請を納期限までに変更するものです。

以上で、議案第14号の補足説明を終わります。

続きまして、議案第15号、旭市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

地方税法の改正に伴い、国民健康保険税減免の申請期限を延長するために、旭市国民健康保険税条例の一部を改正する必要があるため、旭市国民健康保険税条例の一部を改正する条例を制定するものです。

新旧対照表の39ページをお開きください。

第25条の第2項、国民健康保険税の減免については、地方税法の改正に伴い、減免申請を納期限までに変更するものです。

以上で、議案第15号の補足説明を終わります。

○議長（佐久間茂樹） 税務課長の補足説明は終わりました。

議案第16号について、子育て支援課長、登壇してください。

（子育て支援課長 大矢 淳 登壇）

○子育て支援課長（大矢 淳） 議案第16号、旭市児童遊園設置条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

旭市足川3951番地22に設置されている足川浜児童遊園及び旭市溝原1237番地に設置されている関戸児童遊園は、利用児童数の減少と遊具の老朽化に加え、地元区からの要望もあることから、これを廃止するものです。

このため、児童遊園の名称と位置を定めた第2条の表から、この二つの児童遊園を削除するものであります。

以上で、議案第16号の補足説明を終わります。

○議長（佐久間茂樹） 子育て支援課長の補足説明は終わりました。

議案第17号、議案第18号、議案第19号について、高齢者福祉課長、登壇してください。

（高齢者福祉課長 宮内 隆 登壇）

○高齢者福祉課長（宮内 隆） それでは、議案第17号、議案第18号及び議案第19号の3議案につきまして、補足説明を申し上げます。

3議案とも、新旧対照表ではなく、制定条例のほうでご説明いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

初めに、議案第17号、旭市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

本議案は、低所得者に係る介護保険料の軽減強化を継続するに当たり、所要の改正を行うものであります。

第3条第12号の改正は、第1号被保険者に係る介護保険料のうち、現行の第1段階の保険料の軽減期限を、平成28年度から平成29年度に延長するものでございます。

当該保険料は、消費税が8%に引き上げられたことを受けて、年額2万7,000円を2万4,300円に軽減しておりますが、平成29年度においても消費税が8%にとどまることから、軽減額を変更せずに継続するものでございます。

なお、施行日は公布の日からとなっております。

以上で、議案第17号の補足説明を終わります。

続きまして、議案第18号、旭市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

本議案は、地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律の施行に伴い、介護保険法及び関係政省令の一部が改正され、地域密着型通所介護、つまりデイ・サービス事業のうち、利用定員が18人以下のものについては、平成28年度から市町村が所管する地域密着型サービスに位置づけられました。

地域密着型通所介護の指定基準は、指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準が厚生労働省令で規定され、市町村においてはこの基準を勘案して、地域の実情に応じて、自らの判断と責任により、条例で定めることになりました。

なお、基準省令は、平成28年4月1日に施行されておりますが、関係条例の改正については、省令の施行から1年間の経過措置が設けられていることから、このたびの改正となるものでございます。

それでは、主な改正点について、1ページから順次ご説明いたします。

1ページの上段に記載の目次中の追加につきましては、第4章、認知症対応型通所介護の前に、第3章の2として、ただいま申し上げました地域密着型通所介護の項目を挿入するものでございます。

下から4行目の第3章の2、地域密着型通所介護からは、節ごとに主な内容を申し上げます。

下から3行目の第1節の基本方針では、厚生労働省令に基づく基本方針を、第59条の2として規定いたしました。

2ページをお願いいたします。

第2節の人員に関する基準では、第59条の3として、生活相談員、看護職員、介護職員、機能訓練指導員の必要人数を規定するものでございます。

4ページをお願いいたします。

第59条の4では、管理者が常勤である旨を規定しております。

第3節の設備に関する基準では、第59条の5において、消火設備等の備えはもとより、相談室には遮蔽物の設置、そして食堂及び機能訓練室においては、その広さを原則3平方メートルに利用定員を乗じた面積以上とする旨を規定するものでございます。

5ページをお願いいたします。

第4節の運営に関する基準では、第59条の6以降の規定で、サービスの内容や利用料はもとより、介護計画の作成、非常災害時への対策、地域との連携として、地域住民や利用者の家族等を集めての運営推進会議を6か月に1回以上開催することなどを定めております。

少し飛びまして、11ページをお願いいたします。

第5節の指定療養通所介護の事業の基本方針並びに人員、設備及び運営に関する基準では、12ページをお願いいたします。第59条の21以降の規定は、指定療養通所介護、つまり難病等を有する重度介護者や末期がんの方を対象として、通所介護サービスを提供する介護施設でございますが、旭市には現在ございませんが、当該施設における基本方針をはじめ、従事者の配置基準や設備基準として、専用部屋の面積等を規定するものでございます。

19ページをお願いいたします。

第59条の38以降の規定は、地域密着型通所介護の条文が挿入されたことによりまして、他の条文への準用規定と介護保険法の改正に伴う条項のずれによる文章の整理となっておりますので、ここでの説明は割愛させていただきます。

なお、これらの施行日につきましては、公布の日からとなっております。

以上で、議案第18号の補足説明を終わります。

続きまして、議案第19号、旭市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

本議案は、先ほど説明いたしました議案第18号と同様に、介護保険法及び関係政省令の一部が改正されたことによりまして、介護予防サービス、つまり要支援1と2に該当する方が利用される認知症対応型のデイ・サービス事業について、所要の改正を行うものでございます。

それでは、主な改正点についてご説明いたします。

1 ページの中ほどに記載の第39条中に挿入する内容について申し上げます。

第1項としての追加は、指定介護予防認知症対応型通所介護事業者においては運営推進会議の設置を義務づける規定であり、同条第2項は、当該事業者において運営推進会議の記録を作成し、公表する義務を規定するものでございます。

なお、その他、改正条文につきましては、認知症対応型通所介護の規定が挿入されたことによりまして、他の条文への準用規定と介護保険法の改正に伴う条項のずれとなる文言の整理となっておりますので、ここでの説明は省略させていただきます。

施行日は、公布の日からとなっております。

以上で、議案第19号の補足説明を終わります。

○議長（佐久間茂樹） 高齢者福祉課長の補足説明は終わりました。

議案第21号、議案第23号について、建設課長、登壇してください。

（建設課長 加瀬喜弘 登壇）

○建設課長（加瀬喜弘） 議案第21号、和解及び損害賠償の額を定めることについて、補足説明を申し上げます。

本件につきましては、市道1-050号線三川地先における蛇園南地区流末排水整備事業排水路整備工事の施工に起因する地盤変動により生じた家屋等への損害に関し、交渉が成立したことから、和解及びこれに要する損害賠償額635万4,168円を支払うべく、議会の議決を求

めるものでございます。

以上で、議案第21号の補足説明を終わります。

続いて、議案第23号、市道の認定及び変更について、補足説明を申し上げます。

本件につきましては、市道の整備に伴い5路線を認定、飯岡海上連絡道三川蛇園線の一部が完成したことと、既に南堀之内バイパスの一部が完成していることと併せて路線組替えを行い、新たに4路線を認定、3路線を変更するに当たり、議会の議決を求めるものであります。

以上で、議案第23号の補足説明を終わります。

○議長（佐久間茂樹） 建設課長の補足説明は終わりました。

議案第24号、議案第25号、議案第26号について、市民生活課長、登壇してください。

（市民生活課長 大木廣巳 登壇）

○市民生活課長（大木廣巳） 議案第24号から議案第26号について、補足説明を申し上げます。

本議案は、人権擁護委員候補者の推薦について、人権擁護委員法第6条第3項の規定に基づき、議会の意見を求めるものです。

本市の人権擁護委員の定数10名のうち3名が平成29年6月30日に任期満了となるため、後任の委員候補者を法務大臣に推薦するに当たり、議会の意見を求めるものです。

議案第24号で推薦したい方は、旭市蛇園3604番地にお住まいの齋木龍恵氏、昭和29年1月21日生まれの方です。

齋木龍恵氏は、平成17年から人権擁護委員として積極的に活動されており、温厚誠実な人柄で、地域における信望も大変厚く、委員として適任の方ですので、引き続き推薦するものです。

次に、議案第25号で推薦したい方は、旭市見広741番地にお住まいの嶋田春子氏、昭和26年2月12日生まれの方です。

嶋田春子氏は、平成26年から人権擁護委員として積極的に活動されており、清廉潔白な人柄で責任感が大変強く、委員として適任の方ですので、引き続き推薦するものです。

次に、議案第26号で推薦したい方は、旭市萬力1087番地にお住まいの堀江通洋氏、昭和29年8月8日生まれの方です。

堀江通洋氏は、長年にわたり市職員として市行政に携わってこられ、豊富な知識と経験をお持ちで、地域の役員につくなど信望も大変厚く、広く社会の実情に精通しており、委員として適任の方ですので、新たに推薦するものです。

なお、3人とも、人権擁護委員法第7条第1項の規定による委員の欠格条項につきましては、該当する事項はありません。

また、委員の任期は、平成29年7月1日から平成32年6月30日までの3年間となります。

以上で、議案第24号から議案第26号の補足説明を終わります。

○議長（佐久間茂樹） 市民生活課長の補足説明は終わりました。

以上で、議案の補足説明は終わりました。

○議長（佐久間茂樹） 以上をもちまして、本日の日程は全部終了いたしました。

これにて本日の会議を閉じます。

なお、本会議は3月6日定刻より開会いたします。

大変ご苦労さまでございました。

散会 午後 2時51分